FX Ledger BCX 利用者マニュアル

ベースケース（USD 単一帳簿）＋豪州税務・申告レイヤー｜バージョン 3.2｜2026年11月

対象：起票者・レビュアー・承認者

目次

0. コンセプト

- 0.1 FX Ledger BCX とは
- 0.2 なぜ USD 元帳1本なのか
- 0.3 税金ごとの計算通貨
- 0.4 利用者の役割

1. はじめに

- 1.1 ログイン
- 1.2 受信箱と画面構成

2. 仕訳入力

- 2.1 新規仕訳
- 2.2 税務属性の入力
- 2.3 承認ルートと回付
- 2.4 仕訳照会
- 2.5 仕訳一覧

3. ワークフロー

- 3.1 レビュアーの受信箱
- 3.2 承認・差戻し・却下

4. 支払・両替・外貨換算

- 4.1 支払
- 4.2 支払ファイル
- 4.3 通貨交換（両替）
- 4.4 外貨換算（月末）

5. JV Billing 取込

- 5.1 JV Billing Statement の取込

6. 固定資産

- 6.1 固定資産台帳
- 6.2 資産の詳細と税務項目
- 6.3 資産計上（台帳登録）
- 6.4 生産量入力（UOP）
- 6.5 減価償却実行

7. 帳簿・財務諸表

- 7.1 財務諸表
- 7.2 損益計算書
- 7.3 未払金・支払予定
- 7.4 会計士向け説明資料

8. 税務・申告

- 8.1 BAS（GST）申告ワークシート
- 8.2 BAS の精算仕訳
- 8.3 BAS の W1・W2 と GST 勘定の照合
- 8.4 輸入 GST と GST 調整
- 8.5 給与関係債務の照合（PAYG・スーパー）
- 8.6 FBT 申告ワークシート
- 8.7 交際費の区分例
- 8.8 PRRT 計算書（USD 建）
- 8.9 LNG 売上の区分例
- 8.10 法人税計算・税効果調整（USD 建）
- 8.11 一時差異・繰延税金（USD 建）
- 8.12 税務減価償却（Div 40）
- 8.13 AUD 換算・ASIC 規模判定
- 8.14 税務調整（手入力）
- 8.15 給与仕訳取込（AUD）
- 8.16 給与仕訳

9. 個人設定

- 9.1 パスワードと表示言語

0. コンセプト

0.1 FX Ledger BCX とは

FX Ledger BCX は、機能通貨 USD の豪州法人のための会計システムです。USD 元帳1本で記帳するベースケース（BC）に、豪州の税務申告と報告に必要な集計機能を加えました。

法人税と PRRT は、機能通貨選択により USD で計算します。GST（BAS）と FBT、給与関係は AUD で集計します。財務諸表は IFRS に基づき USD で作成します。

- USD 元帳1本：AUD などの取引は取引通貨・外貨額・レート・USD 額を持つ仕訳行として記帳
- ワークフロー承認（起票者 → レビュアー0〜5名 → 承認者）
- 固定資産台帳（定額法・生産高比例法）と会計士向け説明資料
- 税務・申告：BAS、FBT、PRRT、法人税計算、繰延税金、税務減価償却、AUD 換算・ASIC 判定、給与取込

0.2 なぜ USD 元帳1本なのか

IAS 第21号では、外貨建取引は取引日のレートで機能通貨に換算します。貨幣性項目は期末日レートで換算替えし、固定資産などの非貨幣性項目は取引日のレートのまま据え置きます。

USD 元帳1本なら、この原則がそのまま記帳の仕組みになります。支店の再測定や二重帳簿が不要で、誤りの余地が最も小さい方式です。

0.3 税金ごとの計算通貨

法人税は所得税法 Subdivision 960-D の機能通貨選択により、課税所得を USD で計算し、結果を年平均レートで AUD に換算します。USD 建の税務簿価になるため、為替変動による繰延税金（IAS 12.41）が生じません。

PRRT も独自の機能通貨選択により USD で計算します。一方、GST・FBT・PAYG 源泉・スーパー・給与税は AUD の制度なので、仕訳行に保持された AUD の取引額から集計します。

- USD：財務諸表、法人税（960-D）、PRRT
- AUD：GST（BAS）、FBT、PAYG 源泉、スーパー、給与税
- AUD 換算（参考）：ASIC 大規模非公開会社の判定

0.4 利用者の役割

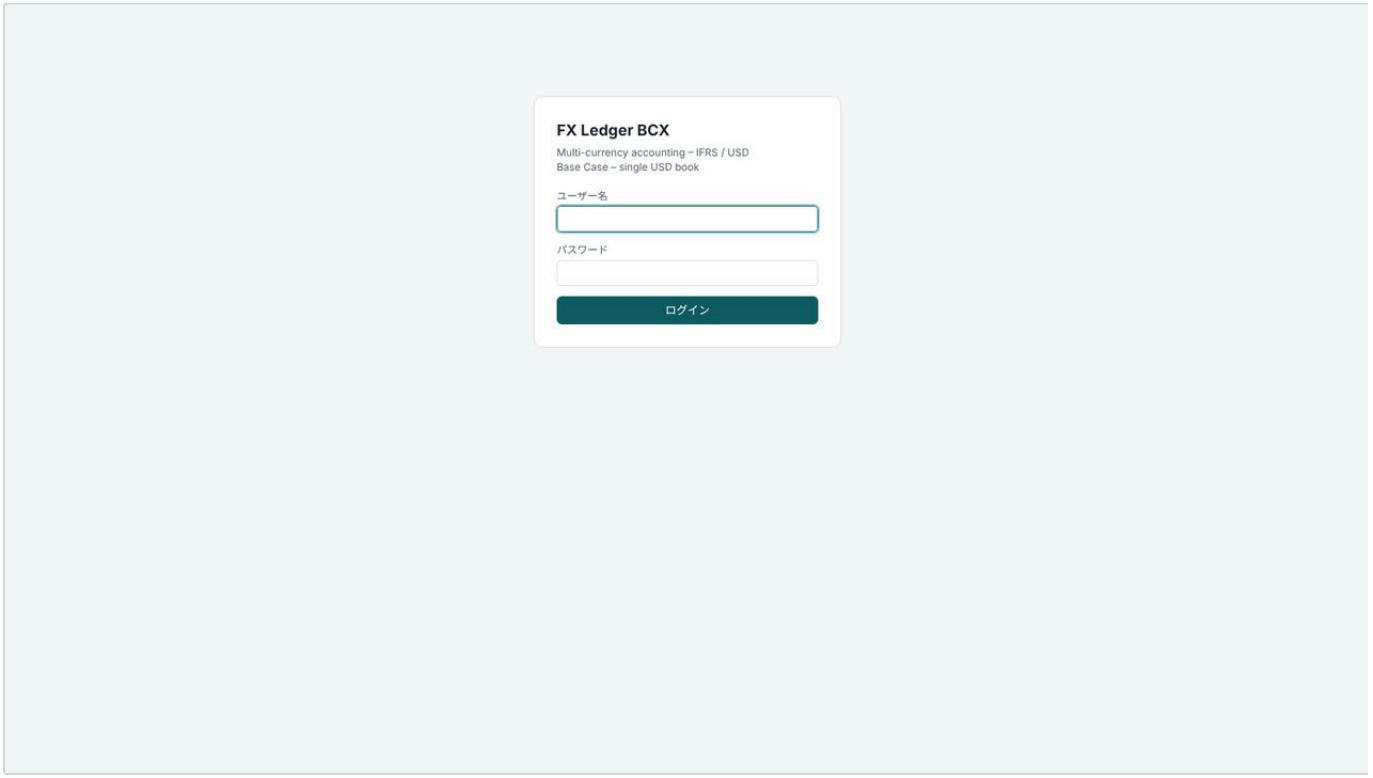
利用者には4つの役割があり、1人が複数の役割を持つこともできます。自分が起票した仕訳を自分で承認することはできません。

- 起票者（Initiator）：仕訳・支払・資産・給与の下書きを作成し回付
- レビュアー（Reviewer）：内容を確認し、承認・差戻し・却下
- 承認者（Approver）：最終承認で転記。支払ファイルを出力
- システム管理者（Admin）：ユーザー・マスタ・設定・監査ログ

1. はじめに

1.1 ログイン

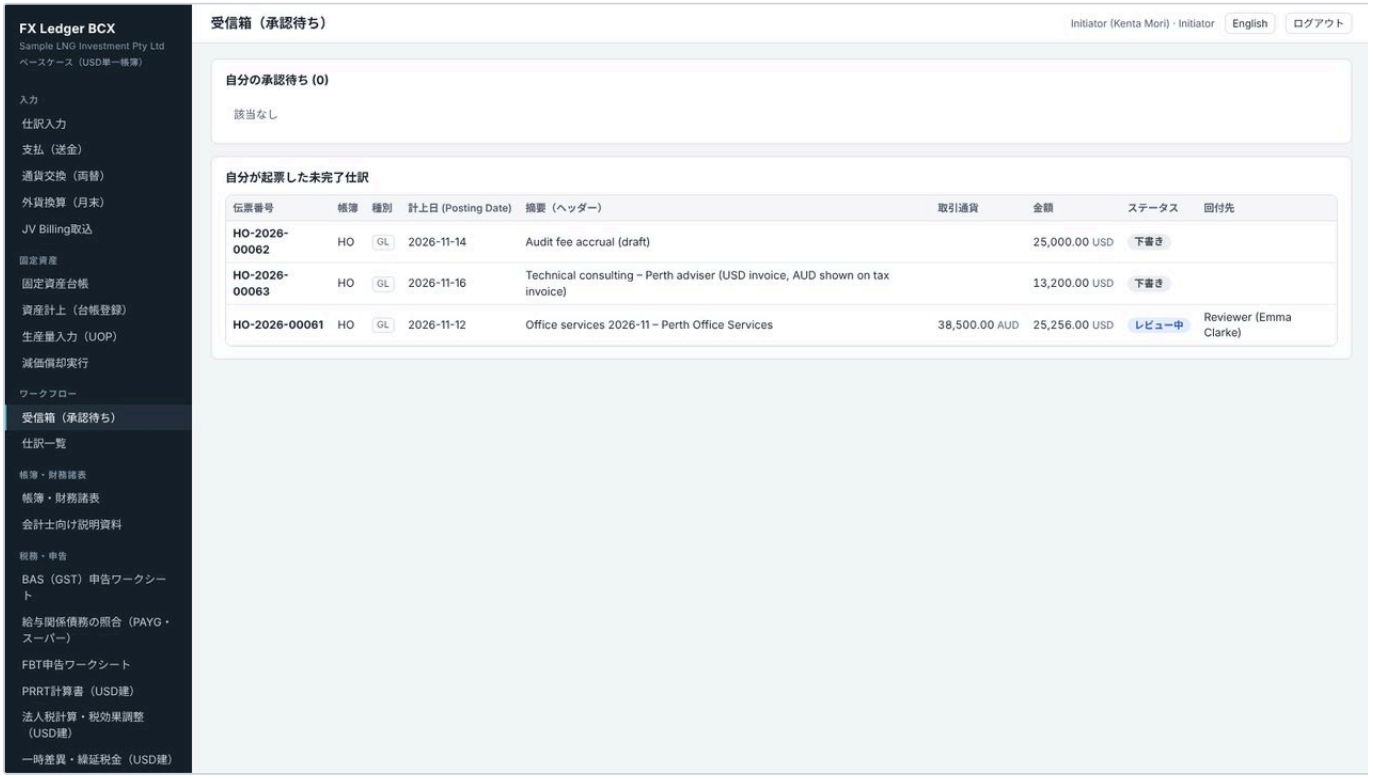
ブラウザでシステムの URL を開き、ユーザー名とパスワードを入力します。5回続けて間違えると15分間ロックされます。画面右上のボタンで日本語と英語を切り替えられます。



1.2 受信箱と画面構成

ログインすると受信箱が開きます。上段は自分が処理すべき仕訳（承認待ち）、下段は自分が起票して処理中の仕訳です。

左のメニューは、入力、固定資産、ワークフロー、帳簿・財務諸表、税務・申告、マスタの順に並んでいます。表示されるメニューは役割によって変わります。



2. 仕訳入力

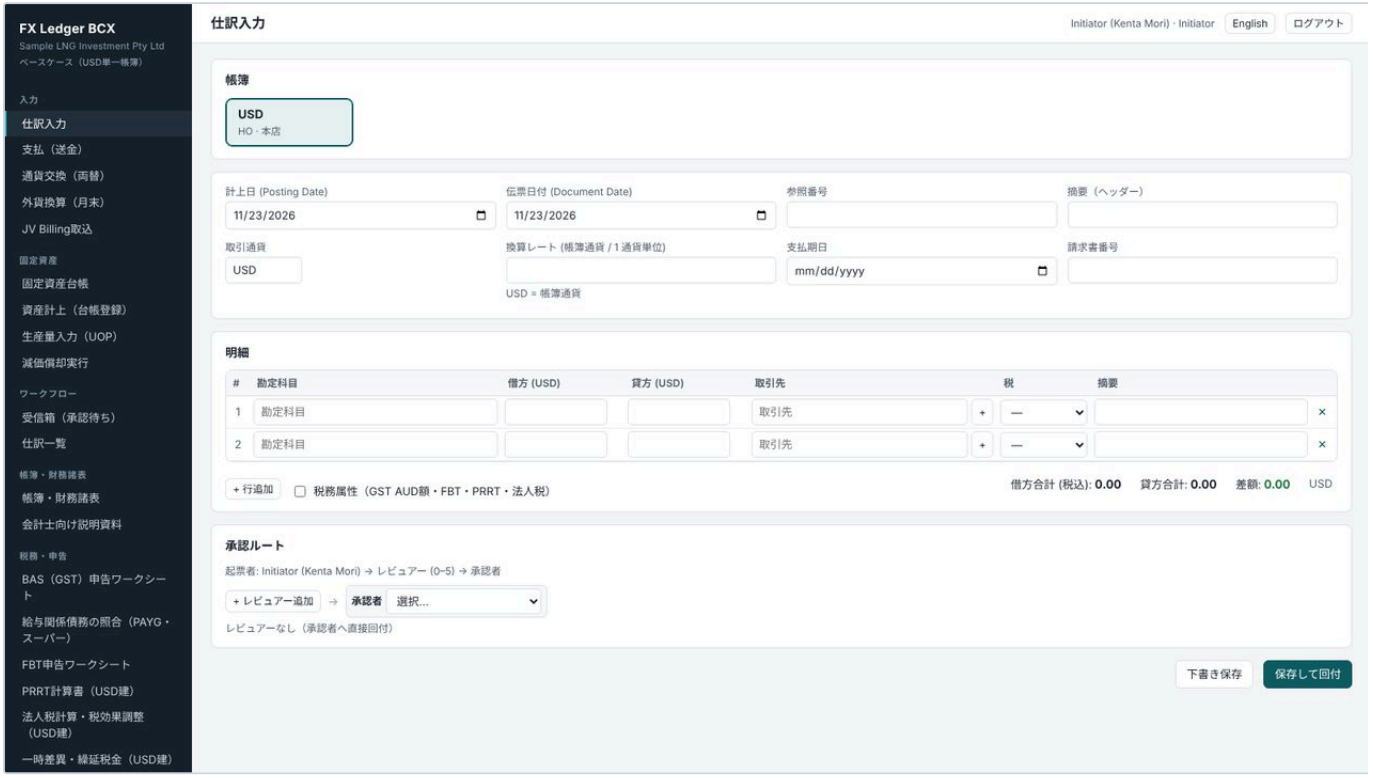
2.1 新規仕訳

「仕訳入力」で新しい仕訳を作成します。帳簿は USD（HO・本店）の1本だけです。計上日、伝票日付、参照番号、摘要を入力します。

取引通貨に AUD などを入力すると、計上日の既定レートが表示されます。請求書に適用レートがある場合は上書きできます。明細の金額は取引通貨で入力し、USD 額は自動で計算されます。

明細ごとに勘定科目、借方または貸方、取引先、税コード、摘要を入力します。税コードを選ぶと、GST の明細が同じ側に自動で追加されます。貸借が一致しないと保存できません。

- GST：仕入 10%（仮払 GST 1150）
- CAP：資本的支出 10%
- GSTS：売上 10%（仮受 GST 2100）
- EXP：輸出（免税）／FRE：その他免税売上
- FREP：免税仕入／INP：非課税／NT：対象外
- IMP：輸入時の GST 10%（G11・1B）
- ADJ1A／ADJ1B：GST の増額・減額調整（GST 額を直接入力）

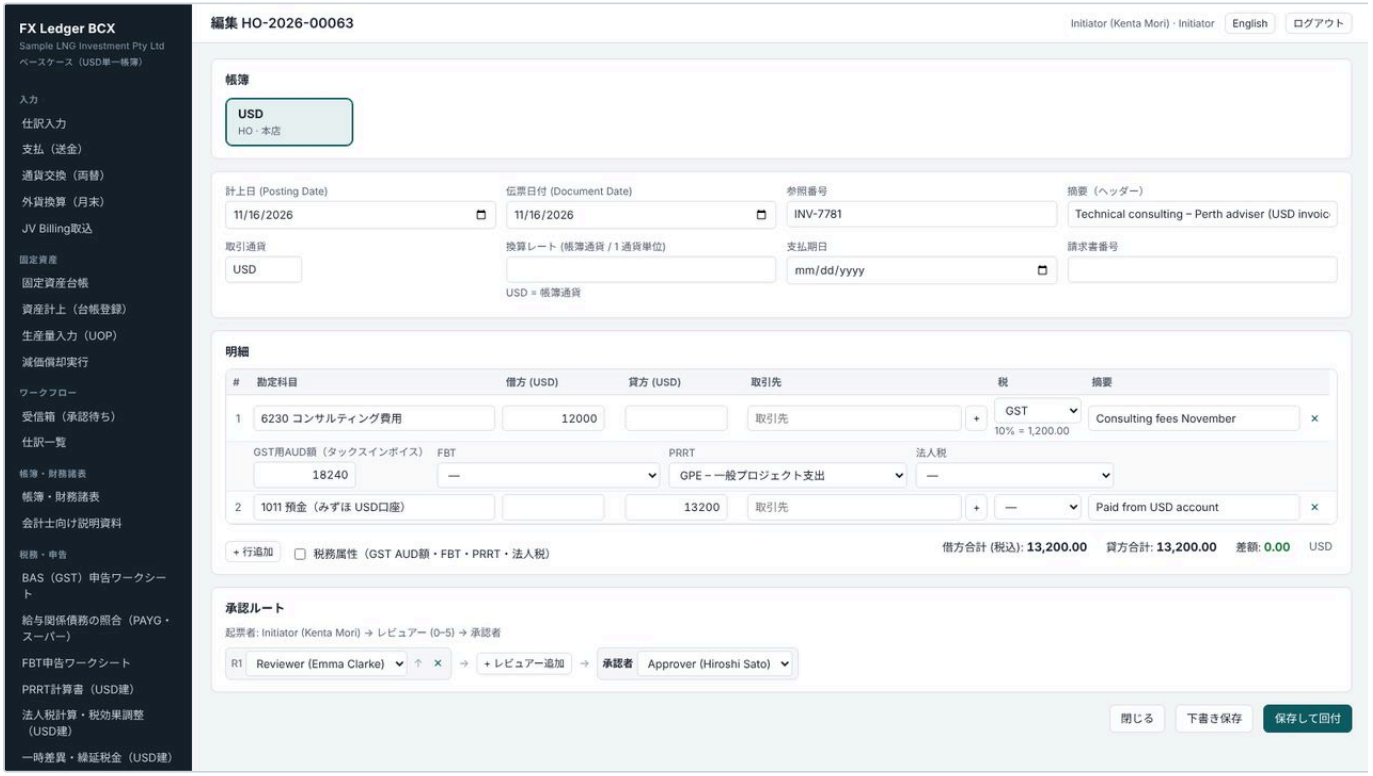


2.2 税務属性の入力

明細の下の「税務属性」にチェックを入れると、明細ごとに4つの項目を入力できます。BAS、FBT、PRRT、法人税の各帳票は、この属性を使って集計します。

GST 用 AUD 額は、USD 建の請求書にタックスインボイスの AUD 額が書かれている場合に入力します。入力した額が BAS に使われ、GST 明細には税率分の AUD 額が自動で付きます。空欄の場合は書類日付のレートで換算します。

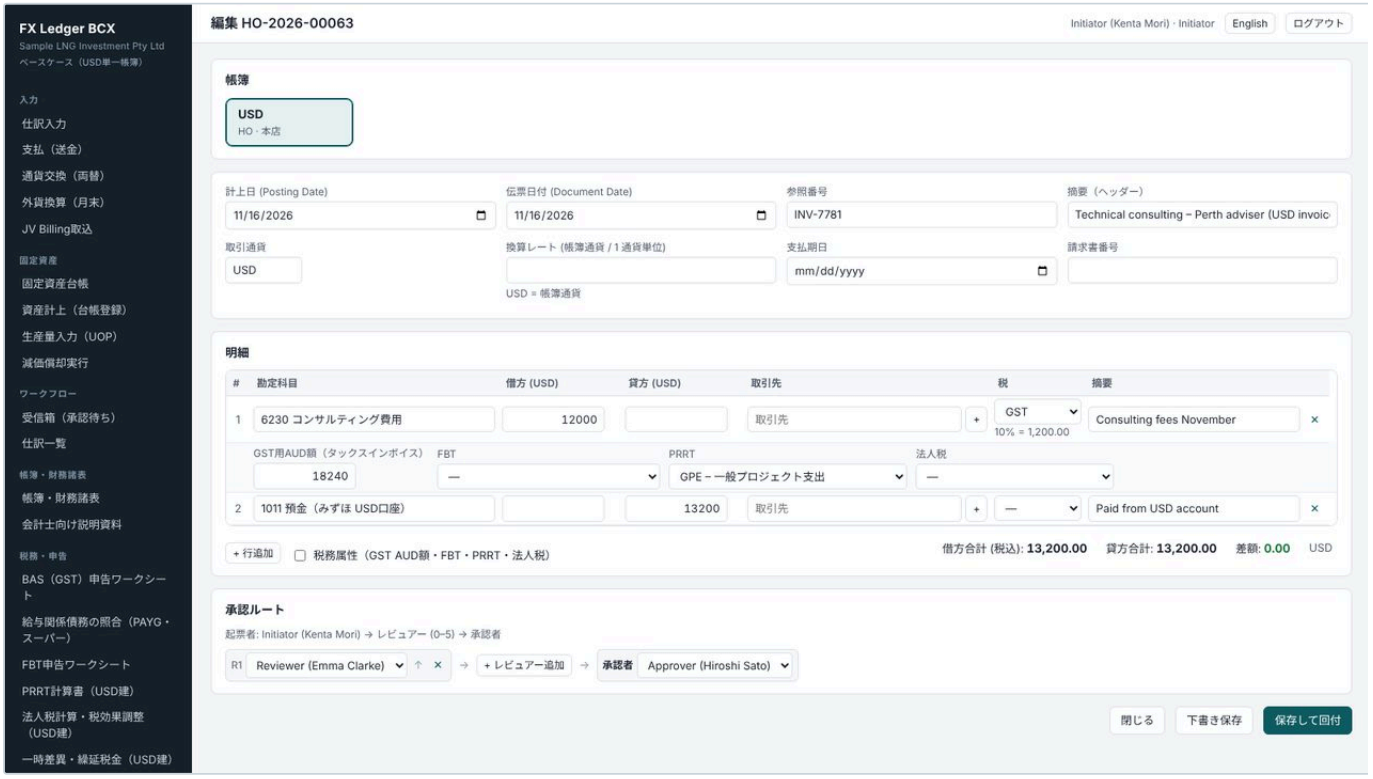
- FBT 区分：CAR 自動車、ENT 飲食接待、EXP 経費支払、HOUS 住宅、LAFHA、LOAN、PROP、RES、EXEMPT
- PRRT 区分：REC 課税収入、EXPL 探鉱、GPE 一般プロジェクト支出、CDE 閉鎖、EXCL 控除対象外
- 法人税：ND 損金不算入、NA 益金不算入、TEMP 支払時損金（一時差異）



2.3 承認ルートと回付

画面下の承認ルートで、レビュアーを0〜5名、承認者を1名選びます。「下書き保存」で保存だけ、「保存して回付」でワークフローに回します。

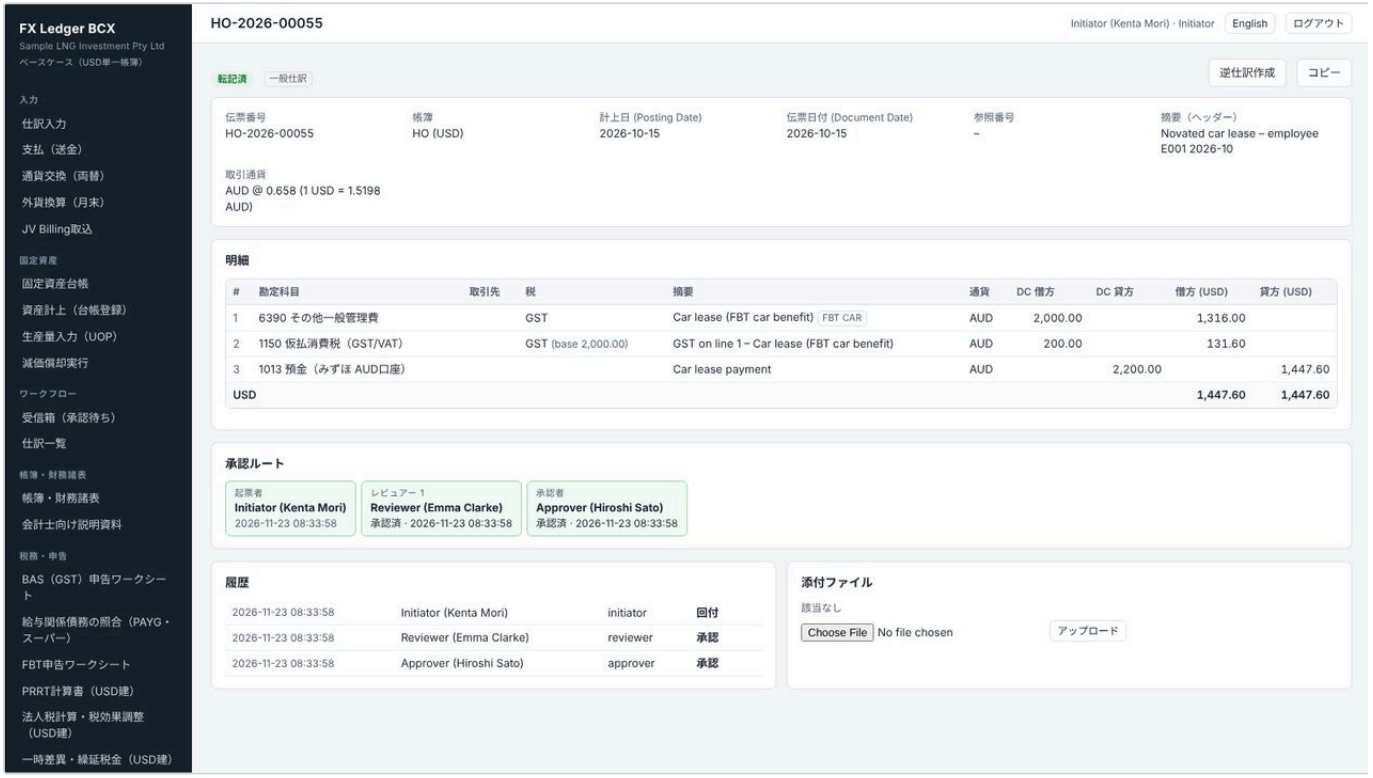
締め済み期間（設定の締め日以前）の計上日では回付・承認・転記ができません。



2.4 仕訳照会

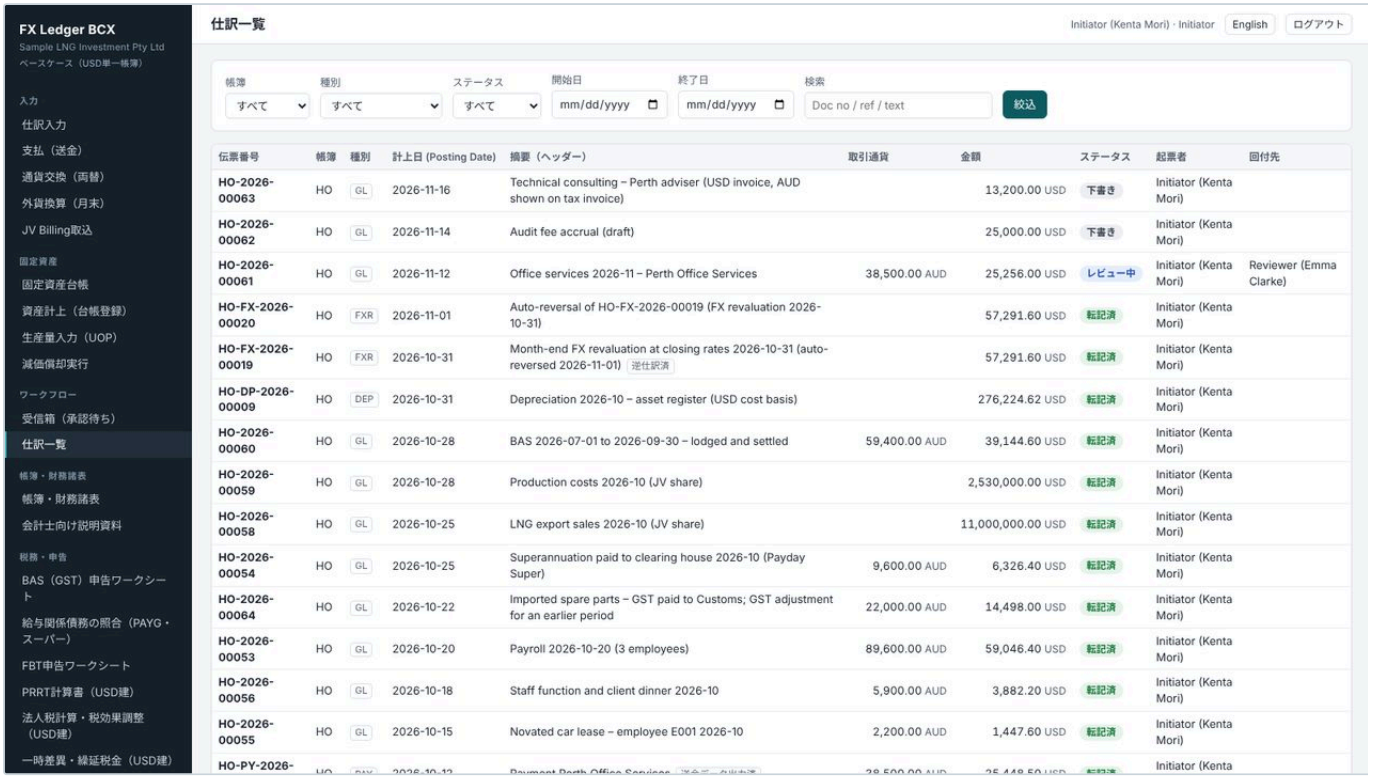
仕訳番号をクリックすると照会画面が開きます。ヘッダー、明細（取引通貨額と USD 額）、承認ルート、履歴、添付ファイルが表示されます。税務属性はタグで表示されます。

この例は従業員の自動車リースで、FBT 区分 CAR が付いています。転記済みの仕訳は「取消」で反対仕訳を作成し、「コピー」で同じ内容の新しい下書きを作れます。



2.5 仕訳一覧

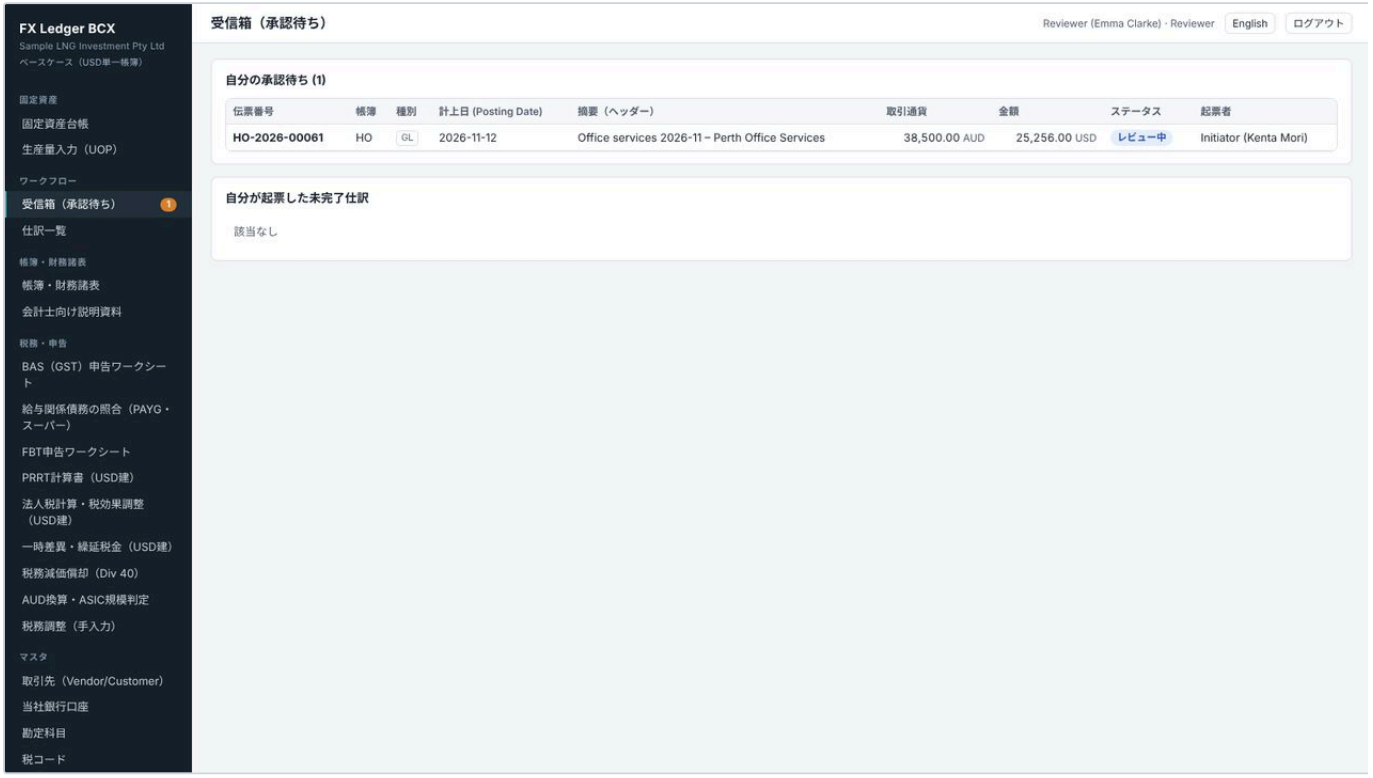
「仕訳一覧」では、期間、状態、種類、文字列で仕訳を検索できます。状態は、下書き、レビュー中、承認待ち、差戻し、却下、転記済みです。



3. ワークフロー

3.1 レビュアーの受信箱

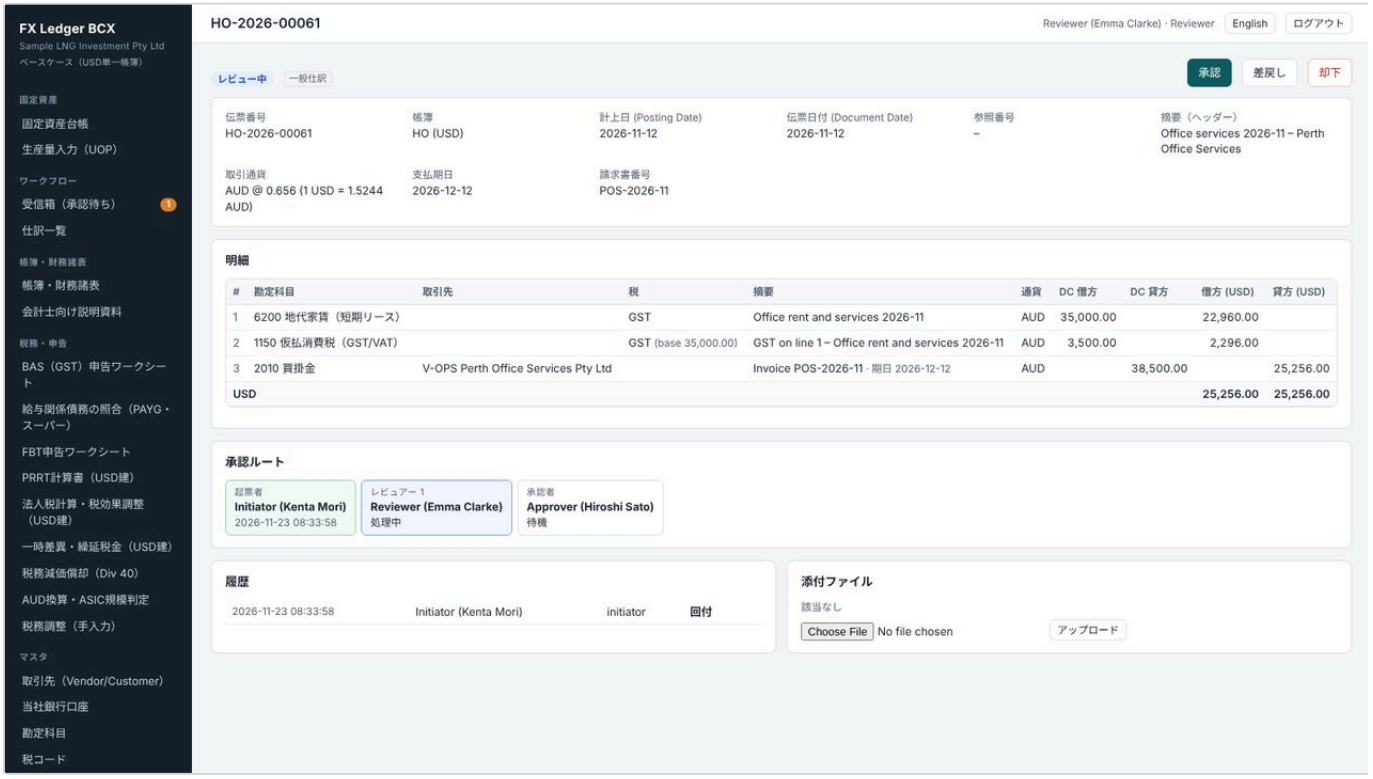
レビュアーには、自分の番になった仕訳が受信箱に表示され、メニューにも件数が出ます。



3.2 承認・差戻し・却下

仕訳を開き、内容と添付を確認して「承認」「差戻し」「却下」を選びます。コメントは履歴に残ります。最後の承認者が承認した時点で転記され、帳簿に反映されます。

差戻された仕訳は起票者が修正して再回付します。回付中の仕訳は、起票者が「引戻し」で下書きに戻すこともできます。

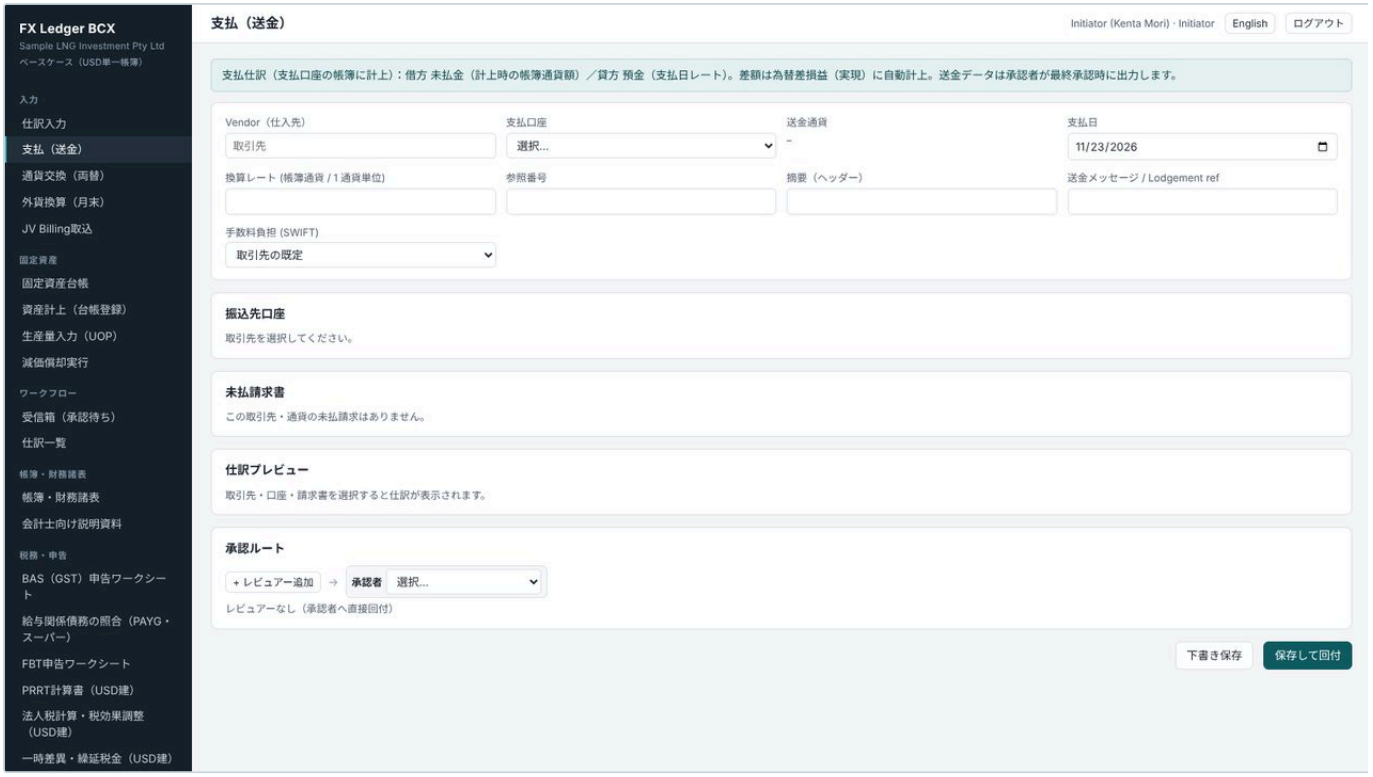


4. 支払・両替・外貨換算

4.1 支払

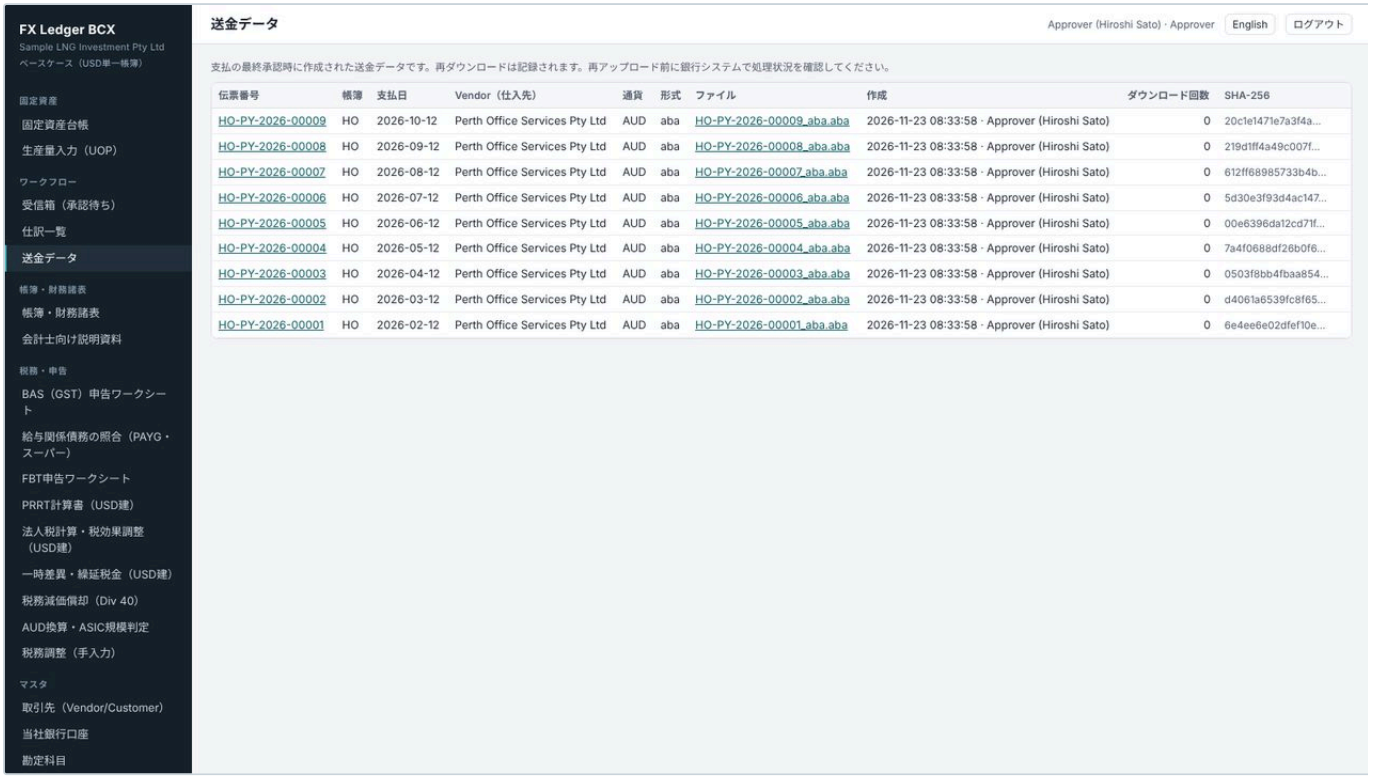
「支払」では、取引先と支払口座を選び、未払の請求書（未決済項目）を選んで支払仕訳を作ります。借方は未払金（請求額）、貸方は銀行（支払日レート）で、差額は実現為替差損益になります。

支払先口座は、管理者が承認した取引先口座だけが使えます。最終承認の時点で承認者が送金データ（ABA などの形式）を出力します。



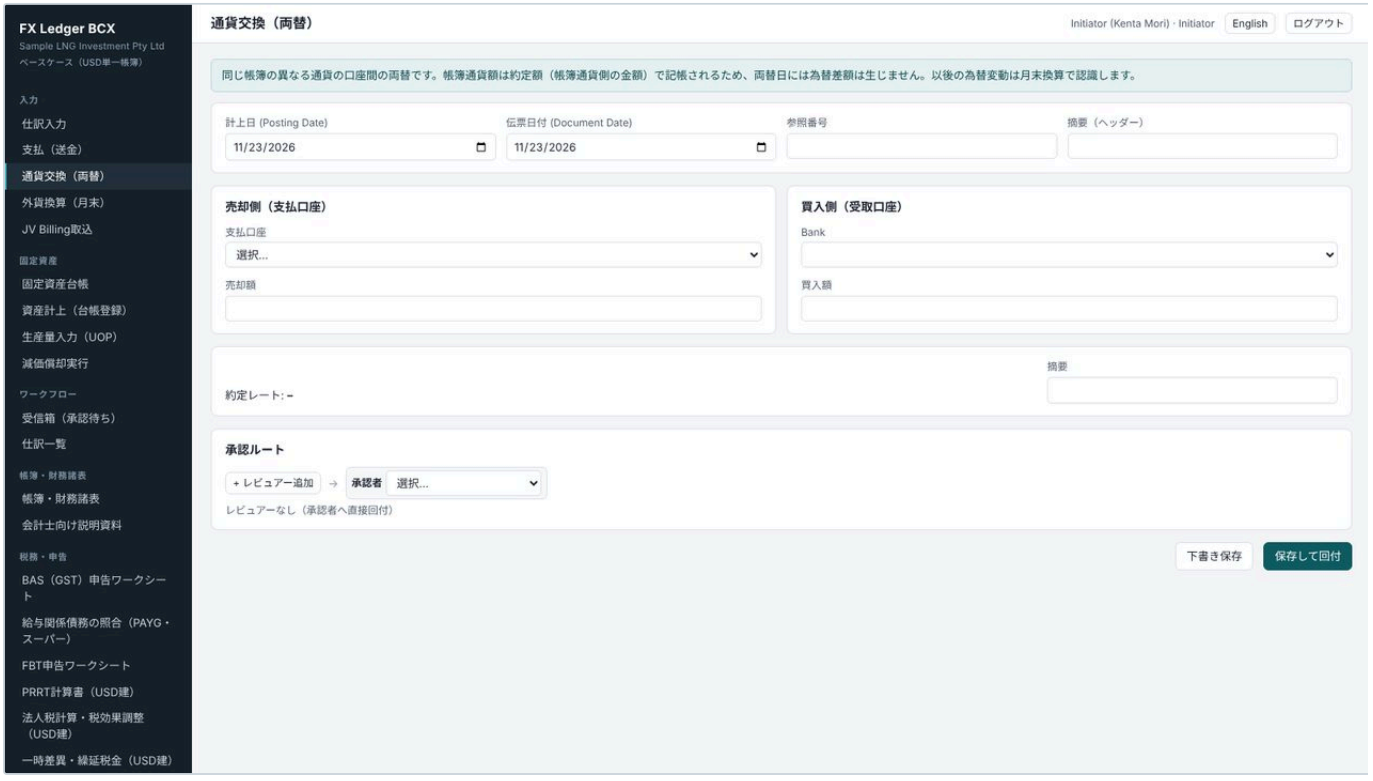
4.2 支払ファイル

承認者と管理者は「支払ファイル」で出力済みのファイルを確認できます。再ダウンロードは記録に残ります。銀行へのアップロード前に支払明細を照合してください。



4.3 通貨交換（両替）

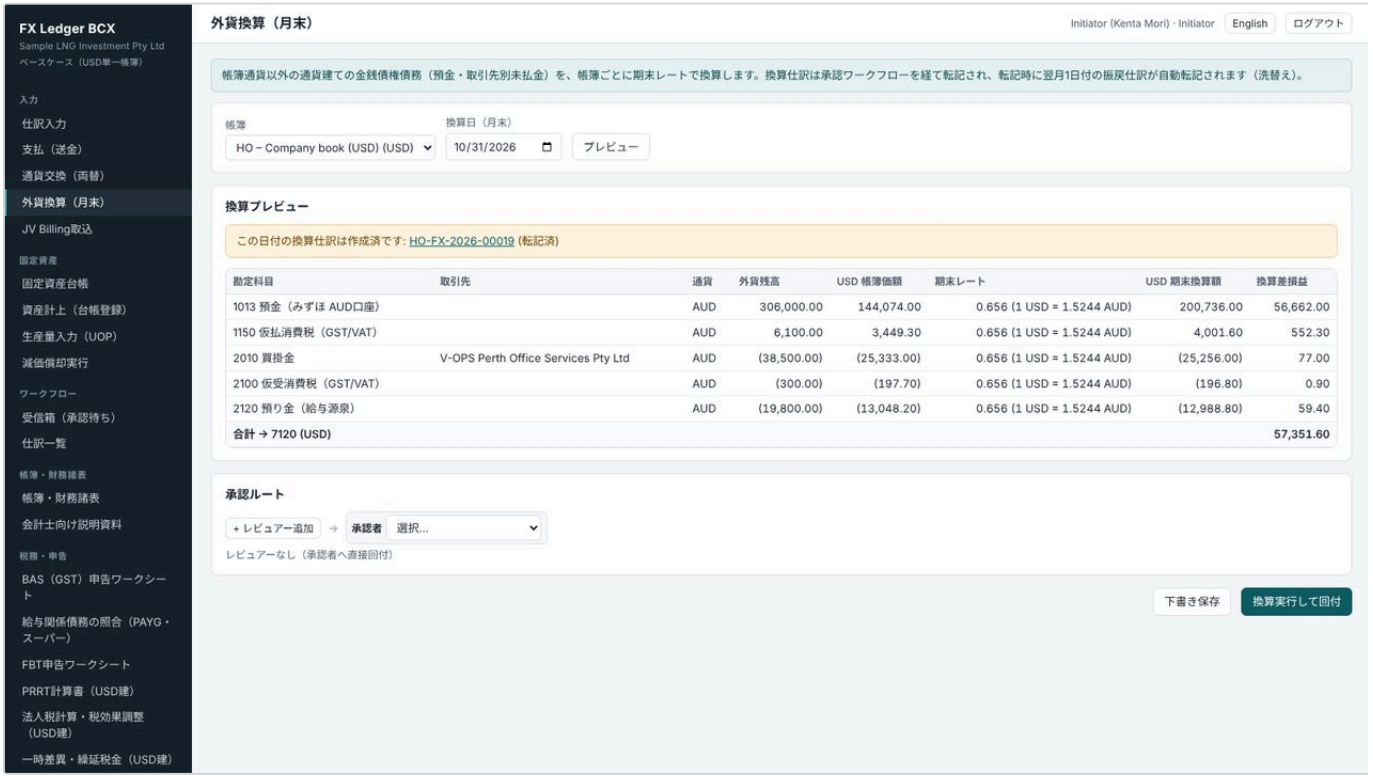
USD 口座から AUD 口座への両替などは「通貨交換」で入力します。出金額と入金額を入力すると、実際の交換レートで仕訳が作られます。



4.4 外貨換算（月末）

月末に「外貨換算」を実行すると、AUD 預金・GST 勘定・未払金など外貨建の貨幣性項目を期末日レートで換算替えし、差額を未実現為替差損益として仕訳します。この仕訳は翌月1日に自動で取り消されます。

固定資産などの非貨幣性項目は換算替えしません。

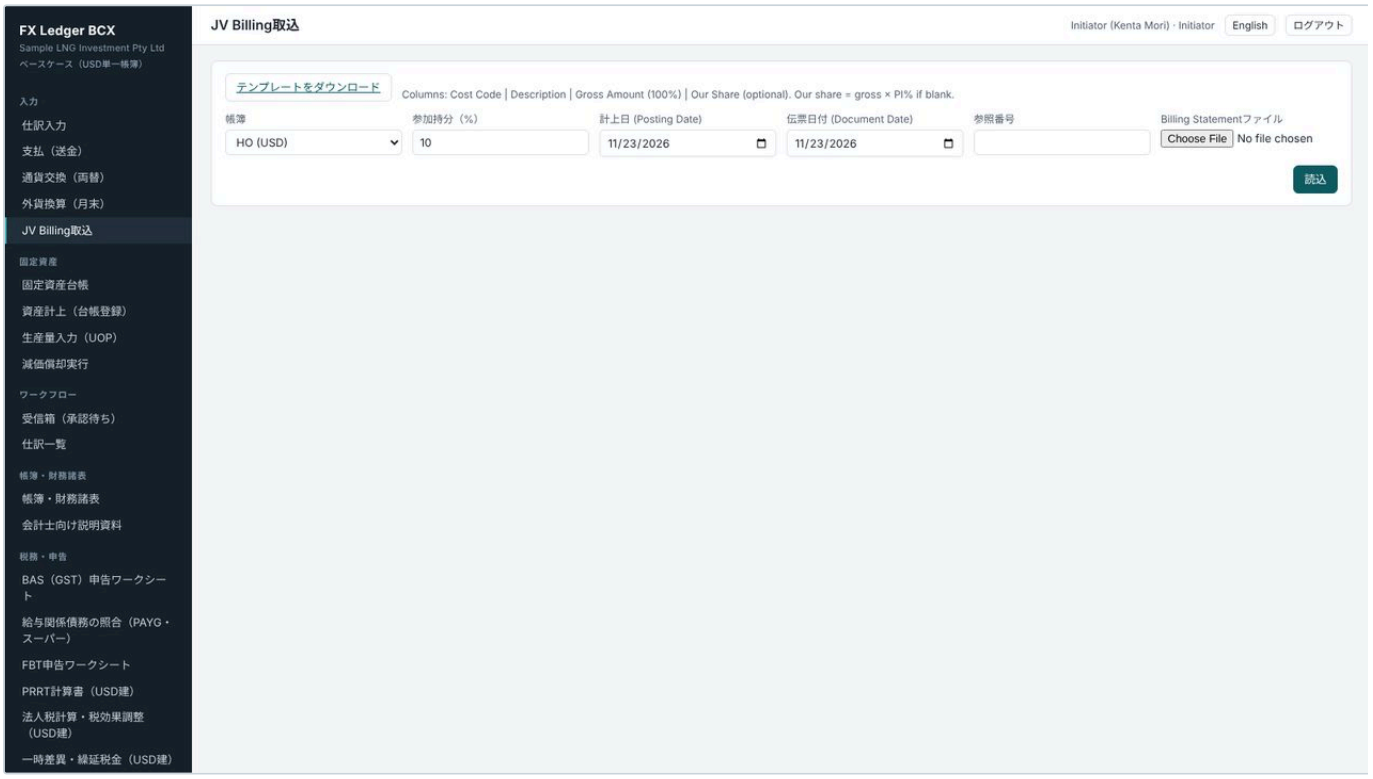


5. JV Billing 取込

5.1 JV Billing Statement の取込

オペレーターの JV Billing Statement（Excel）を取り込むと、コード対応表に従って勘定科目に振り分けた仕訳の下書きができます。キャッシュコール前渡金との相殺も自動で作られます。

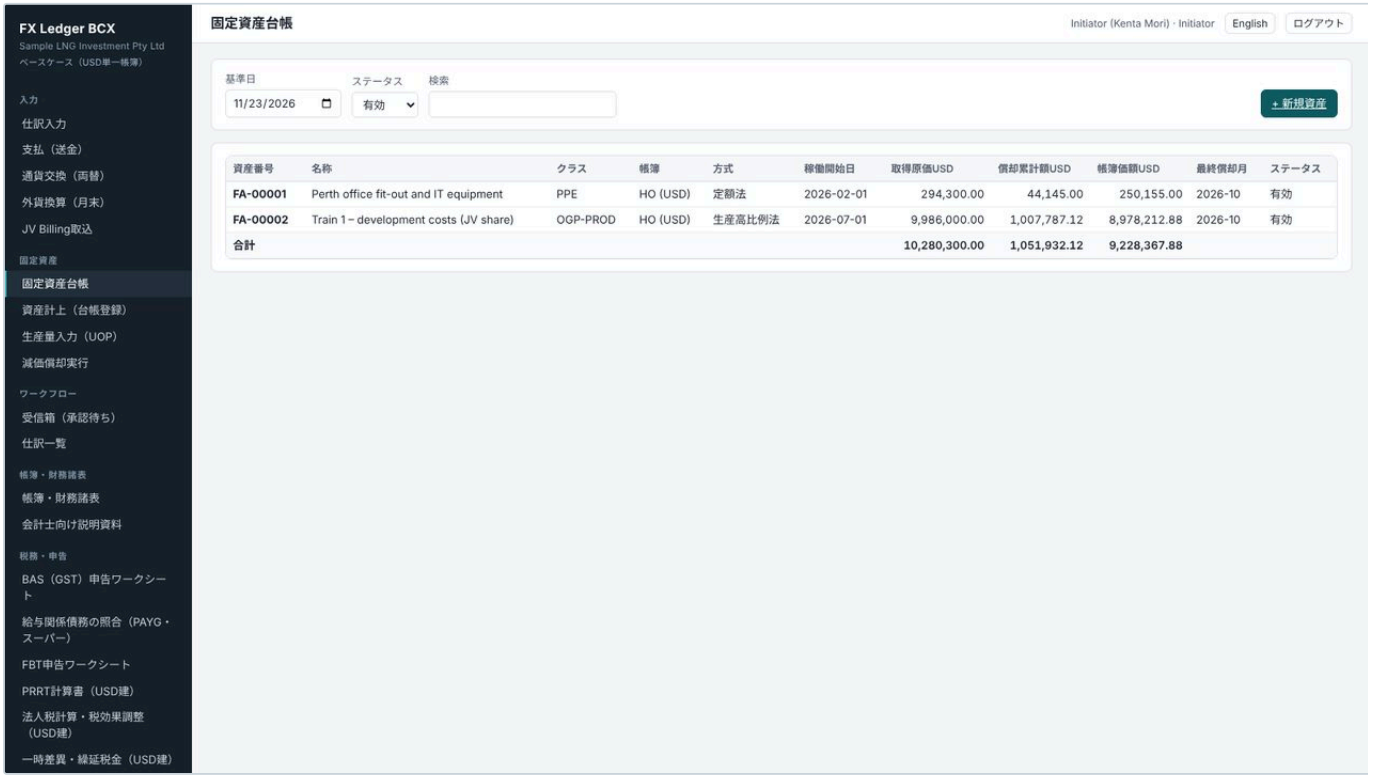
PRRT の区分が必要な明細には、取込後に税務属性を付けてください。



6. 固定資産

6.1 固定資産台帳

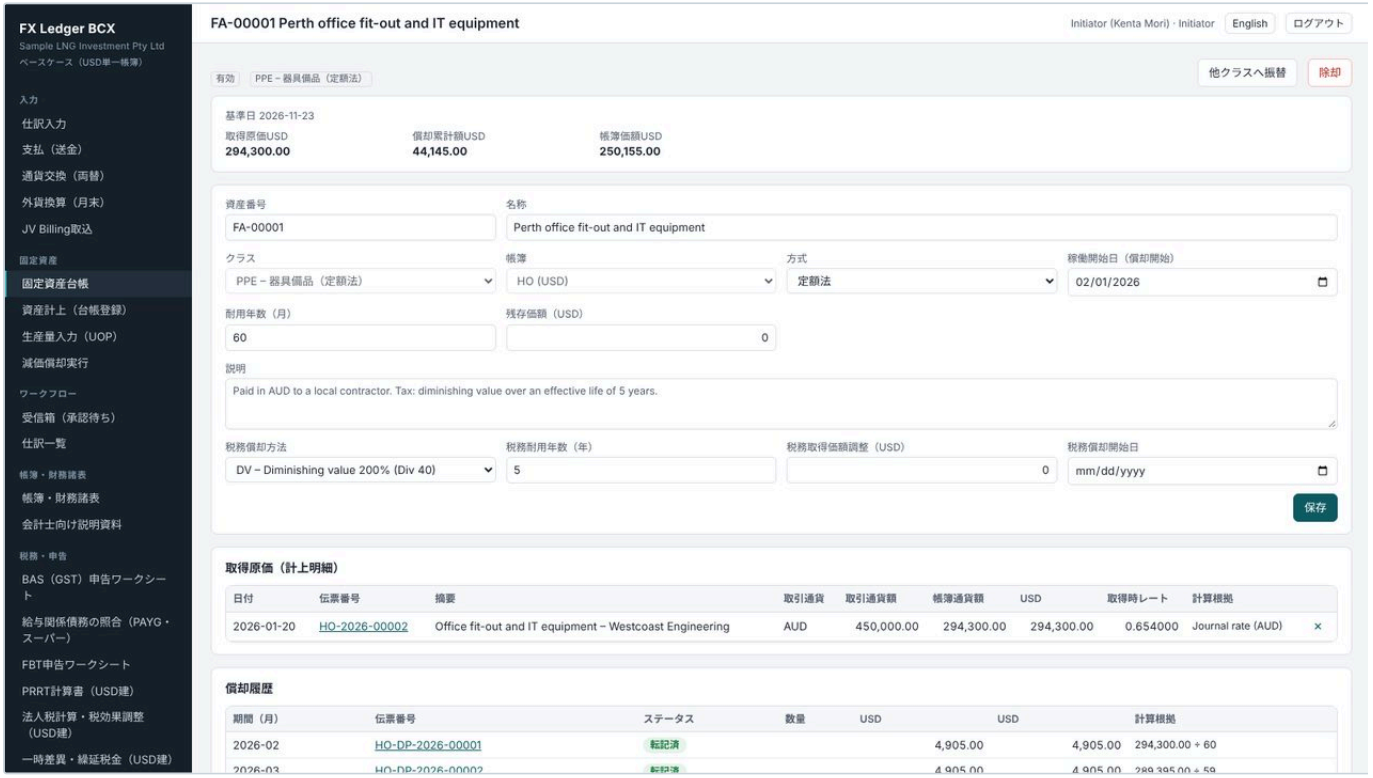
「固定資産台帳」には、資産ごとに取得原価 USD、償却累計額、帳簿価額が表示されます。取得原価は支払日のレートで USD に確定し、以後換算替えしません。



6.2 資産の詳細と税務項目

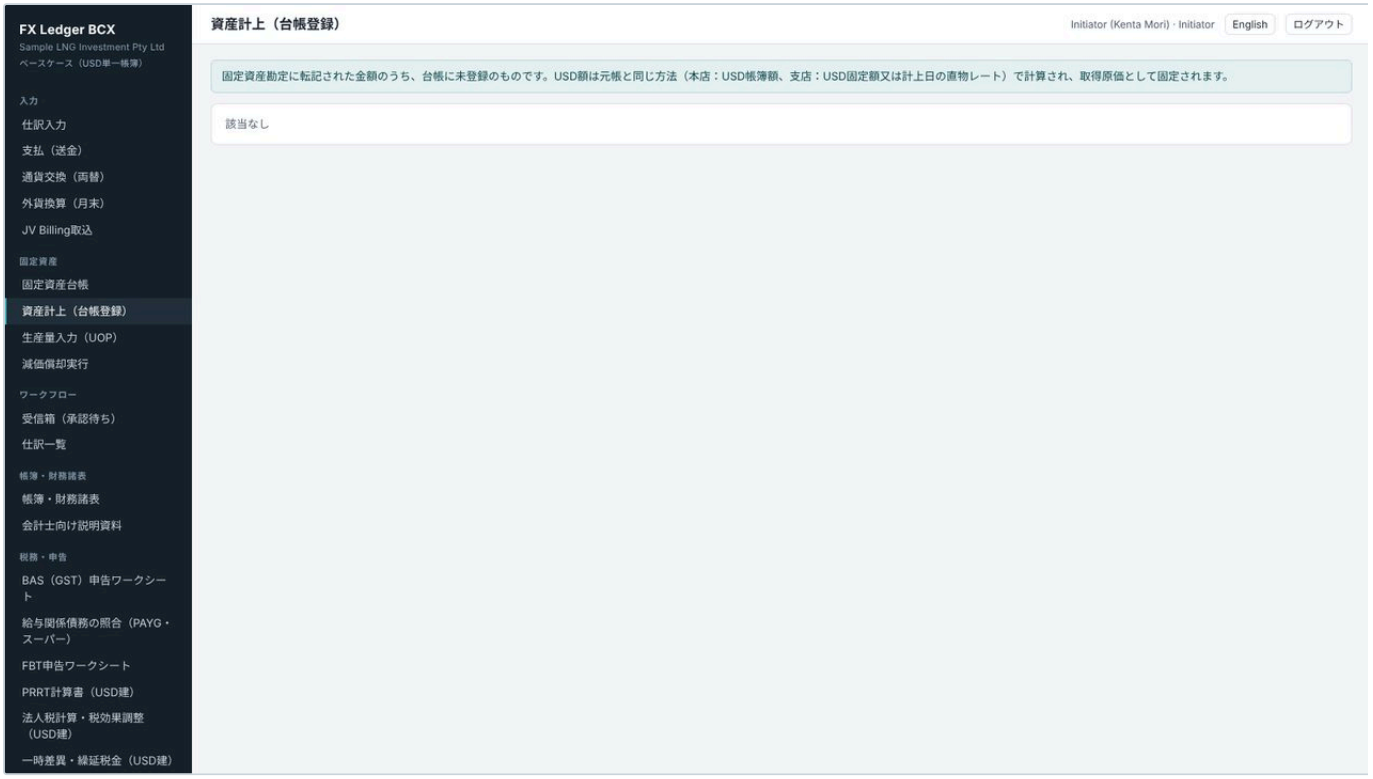
資産の画面では、クラス、償却方法（定額法・生産高比例法・償却なし）、稼働開始日、耐用年数を設定します。取得原価の明細と償却履歴も確認できます。

BCX では税務償却方法（PC 定額、DV 200%定率、IMM 即時損金、NONE）、税務耐用年数、税務取得価額調整、税務償却開始日も設定します。税務減価償却と繰延税金の帳票はこの値を使います。



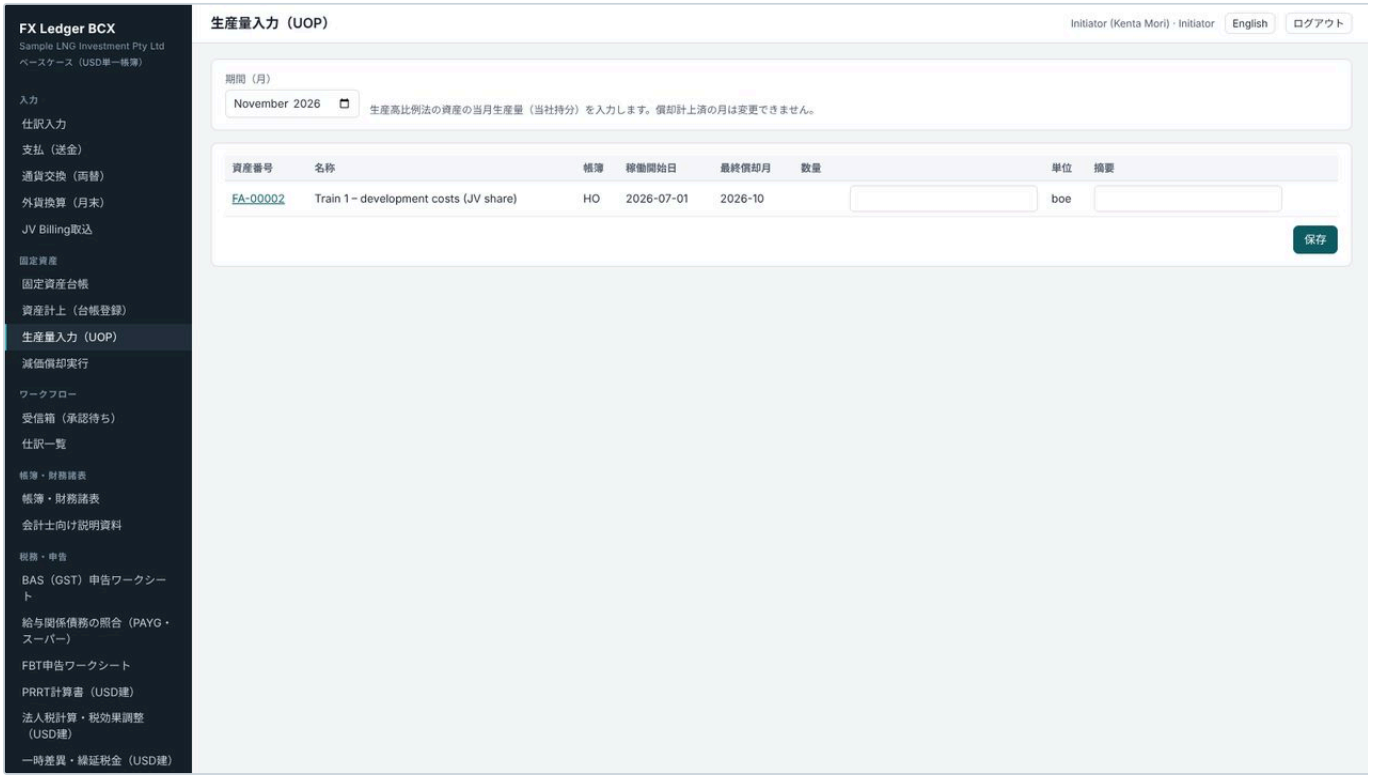
6.3 資産計上（台帳登録）

資産勘定に転記された明細は「資産計上」に一覧されます。資産を選んで明細を紐付けると、台帳の取得原価になります。台帳と元帳の差異は照合帳票で確認できます。



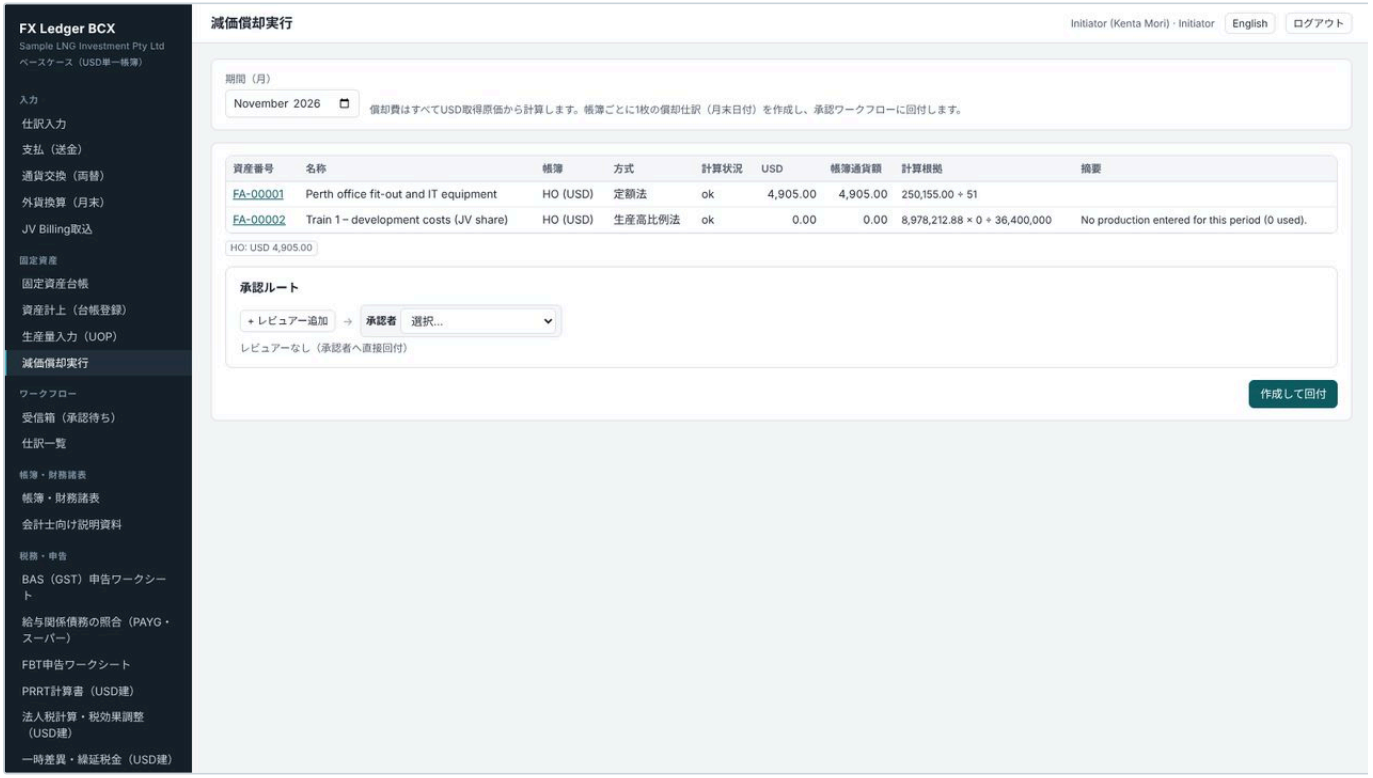
6.4 生産量入力（UOP）

生産高比例法の資産は、毎月の生産量（JV 持分）を入力します。埋蔵量見積を改定した場合は、改定月以降の残存数量で計算されます。



6.5 減価償却実行

「減価償却実行」で月を選ぶと、資産ごとの償却額と計算根拠が表示されます。作成すると償却仕訳が回付されます。

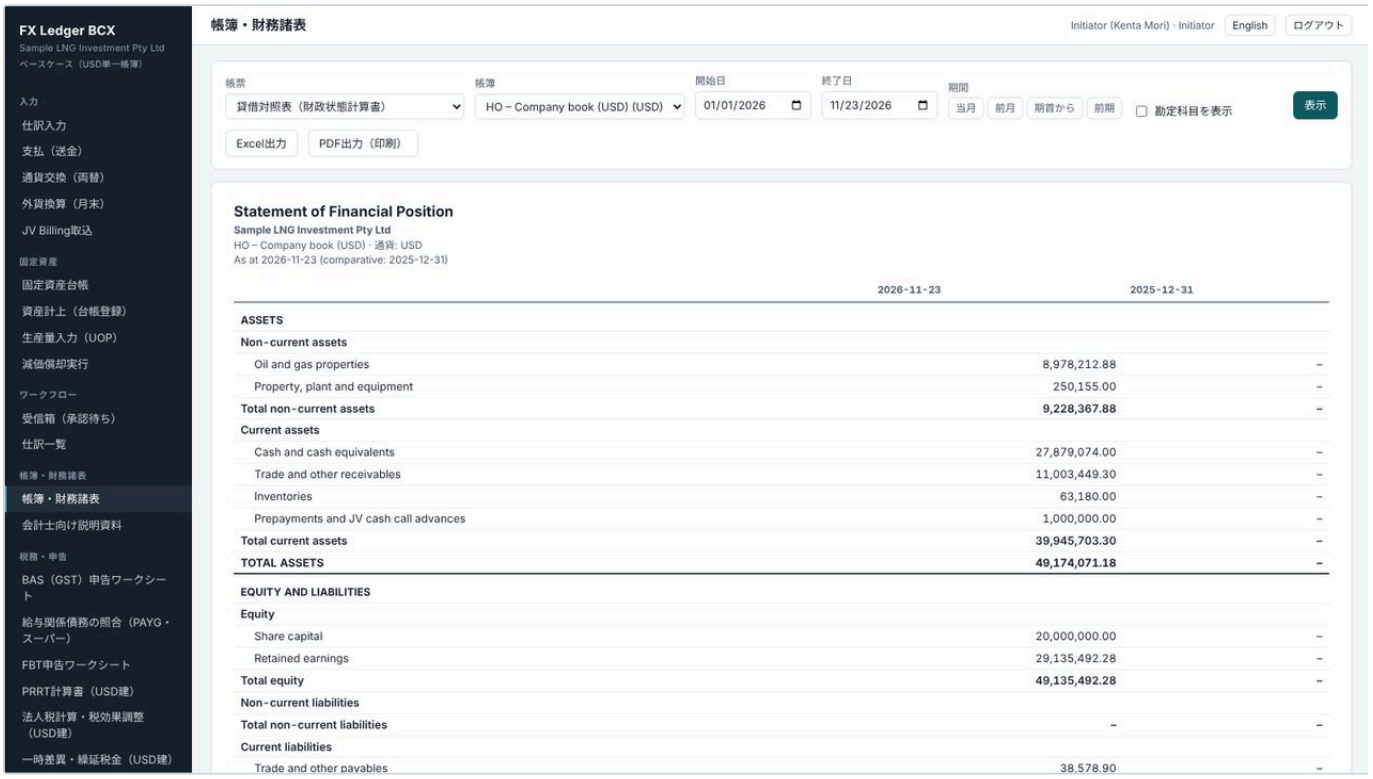


7. 帳簿・財務諸表

7.1 財務諸表

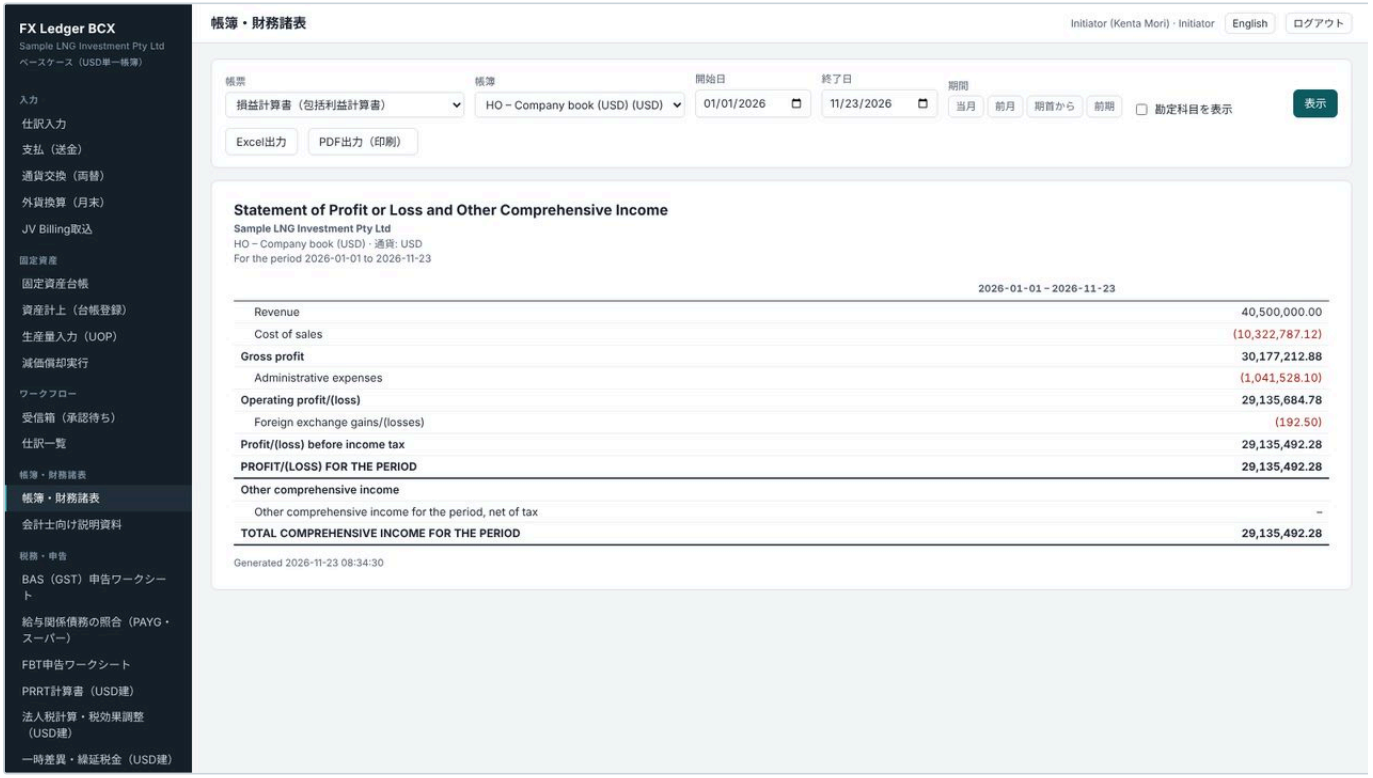
「帳簿・財務諸表」で帳票の種類と期間を選び「表示」を押します。財政状態計算書、損益計算書、持分変動計算書、キャッシュ・フロー計算書、試算表、仕訳帳、総勘定元帳などがあります。

すべての帳票は Excel 出力と印刷（PDF）に対応しています。



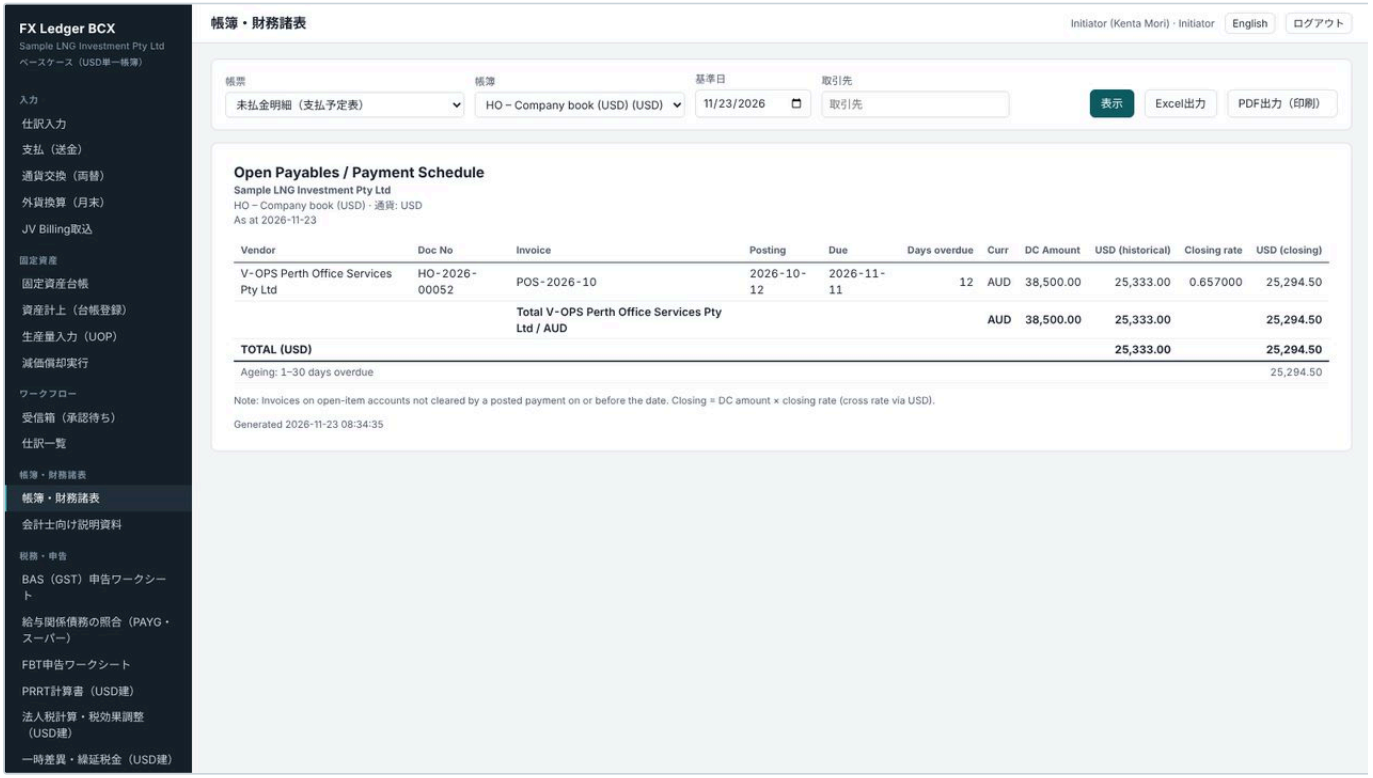
7.2 損益計算書

損益計算書は IFRS の機能別の区分で表示されます。「勘定科目を表示」にチェックすると科目別の内訳が出ます。



7.3 未払金・支払予定

未払金・支払予定表では、取引先別の未決済の請求書と支払期日を確認できます。



7.4 会計士向け説明資料

「会計士向け説明資料」は、期間と言語を選ぶだけで、外貨換算の方針、統制チェック、使用レート、月末換算、外貨建CAPEX、償却の検証、台帳と元帳の照合をまとめて作成します。

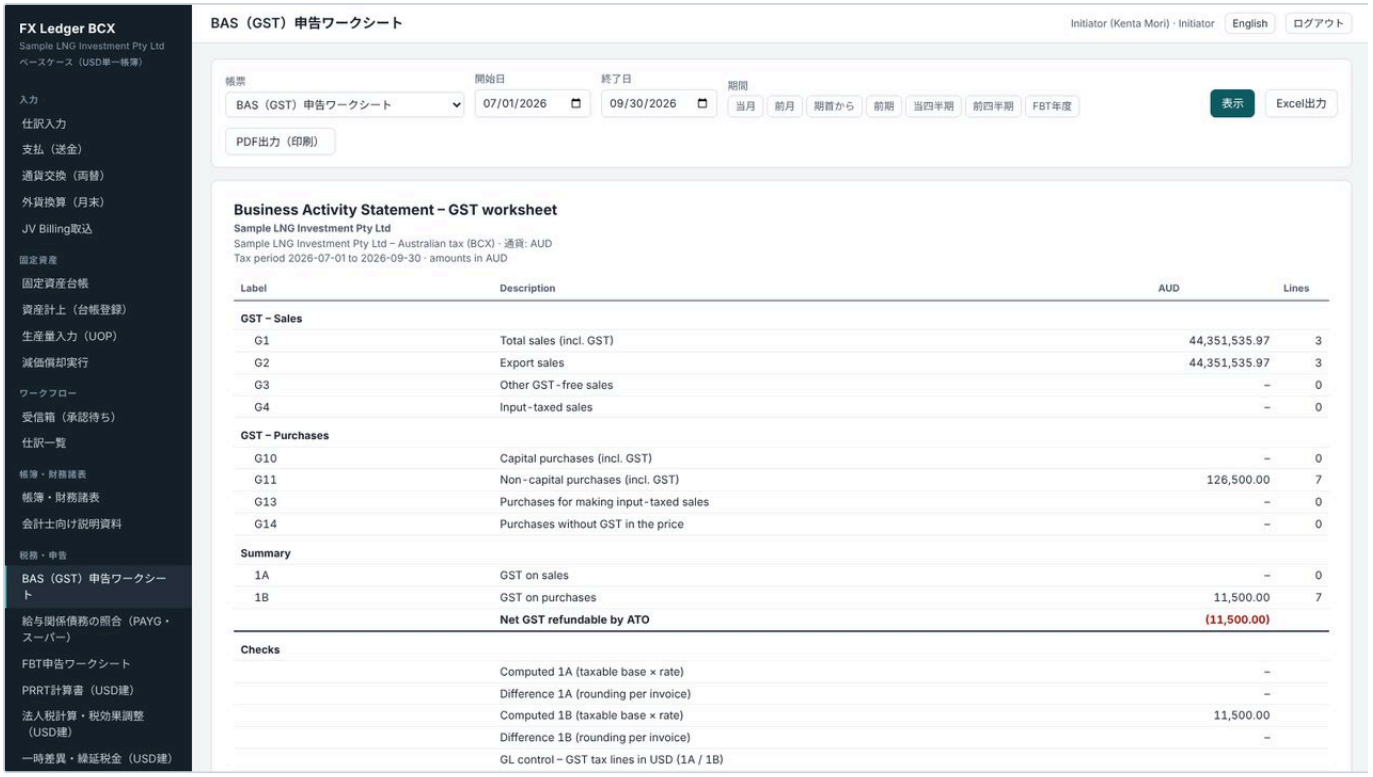


8. 税務・申告

8.1 BAS（GST）申告ワークシート

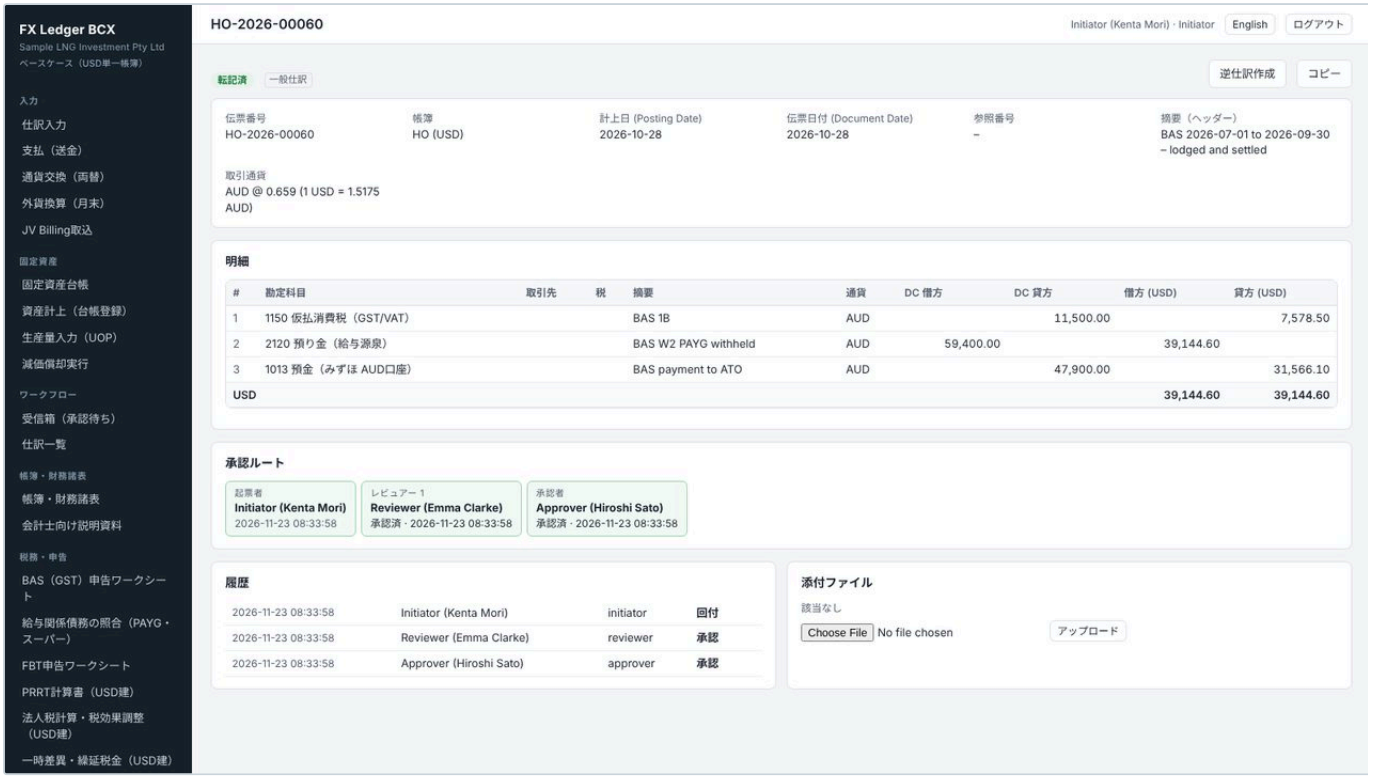
期間を選ぶと、G1〜G4（売上）、G10〜G14（仕入）、1A・1B（GST）を AUD で集計します。「当四半期」「前四半期」のボタンで期間を選べます。

AUD の書類は入力額のまま、外貨の書類は書類日付のレート（FOREX 2018/1）で換算します。税率から計算した額との差、USD 元帳の GST 勘定も確認欄に表示されます。



8.2 BAS の精算仕訳

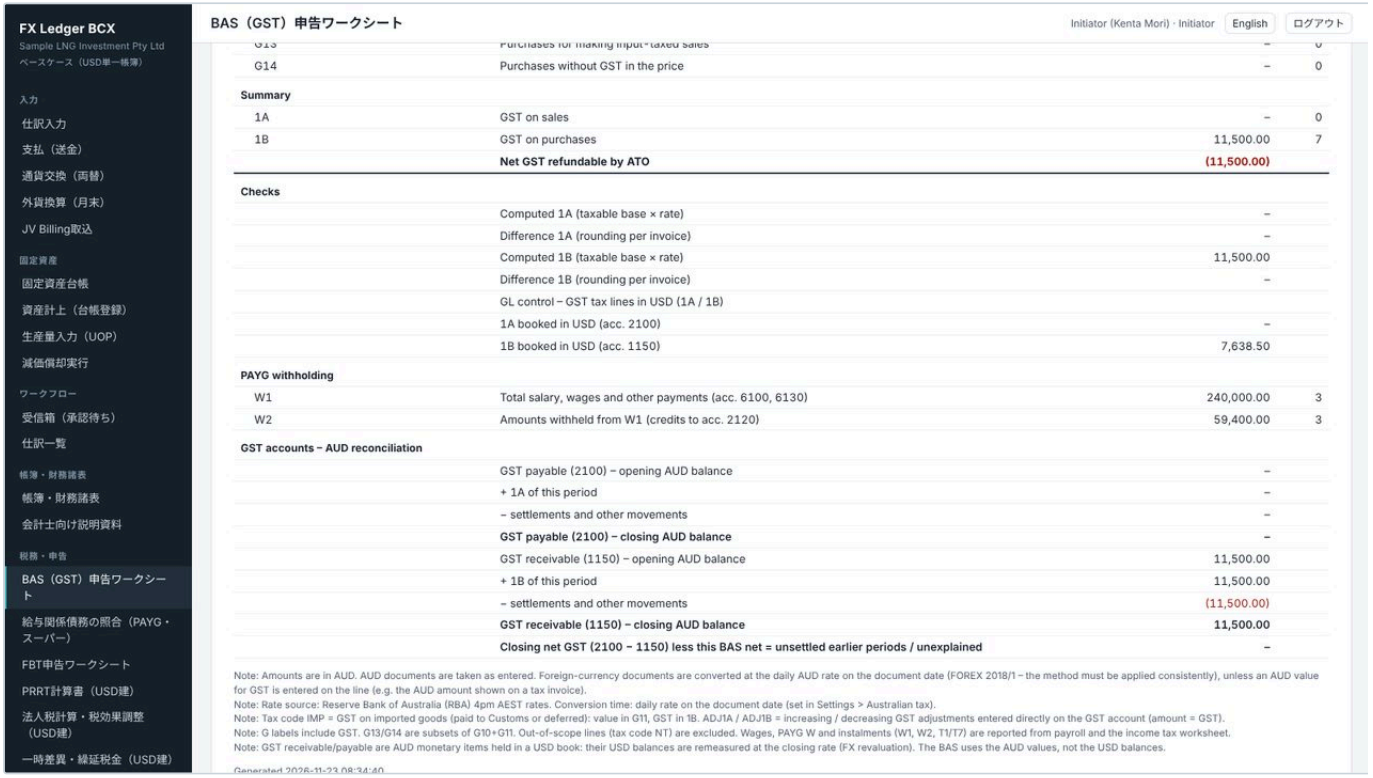
BAS を提出したら、1A（仮受 GST）、1B（仮払 GST）、W2（PAYG 源泉の預り）を消し込み、ATO への納付額（または還付額）を AUD 銀行で仕訳します。



8.3 BAS の W1・W2 と GST 勘定の照合

バージョン 3.2 から、BAS ワークシートの下段に W1（給与支払額）と W2（源泉税額）が表示されます。給与勘定と預り源泉税の勘定から AUD で集計します。

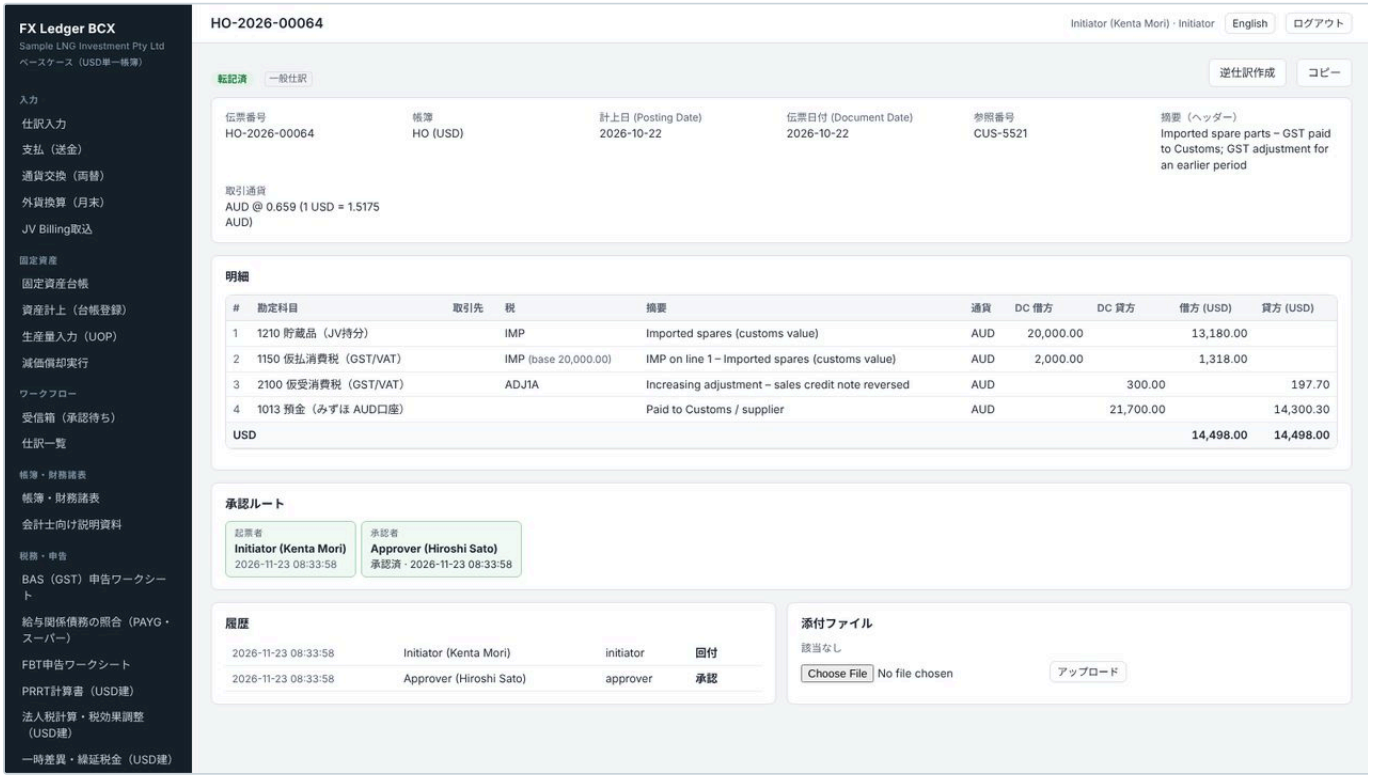
さらに、仮受 GST と仮払 GST の AUD 残高を、期首残高に当期の 1A・1B を加え、精算額を差し引いて期末残高と照合します。説明できない差額があれば強調表示されます。



8.4 輸入 GST と GST 調整

輸入した資材の GST は税コード IMP で入力します。金額は G11、GST は 1B に集計されます。

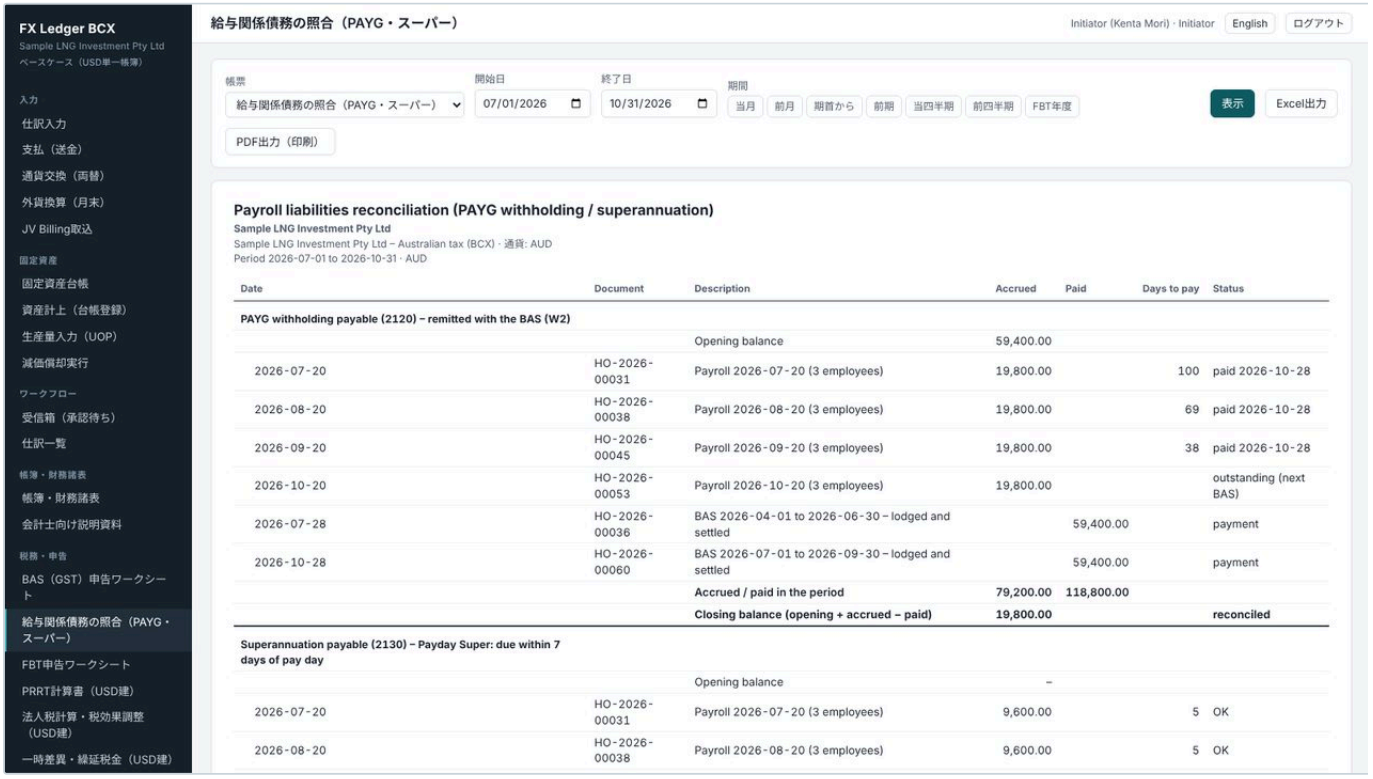
前の期間の訂正などで GST を増減させる場合は、税コード ADJ1A または ADJ1B を付けて、GST 勘定に GST 額を直接入力します。BAS の 1A または 1B にそのまま反映されます。



8.5 給与関係債務の照合（PAYG・スーパー）

この帳票は、預り源泉税と未払スーパーの AUD 残高を、期首残高、当期の計上額、支払額、期末残高で照合します。

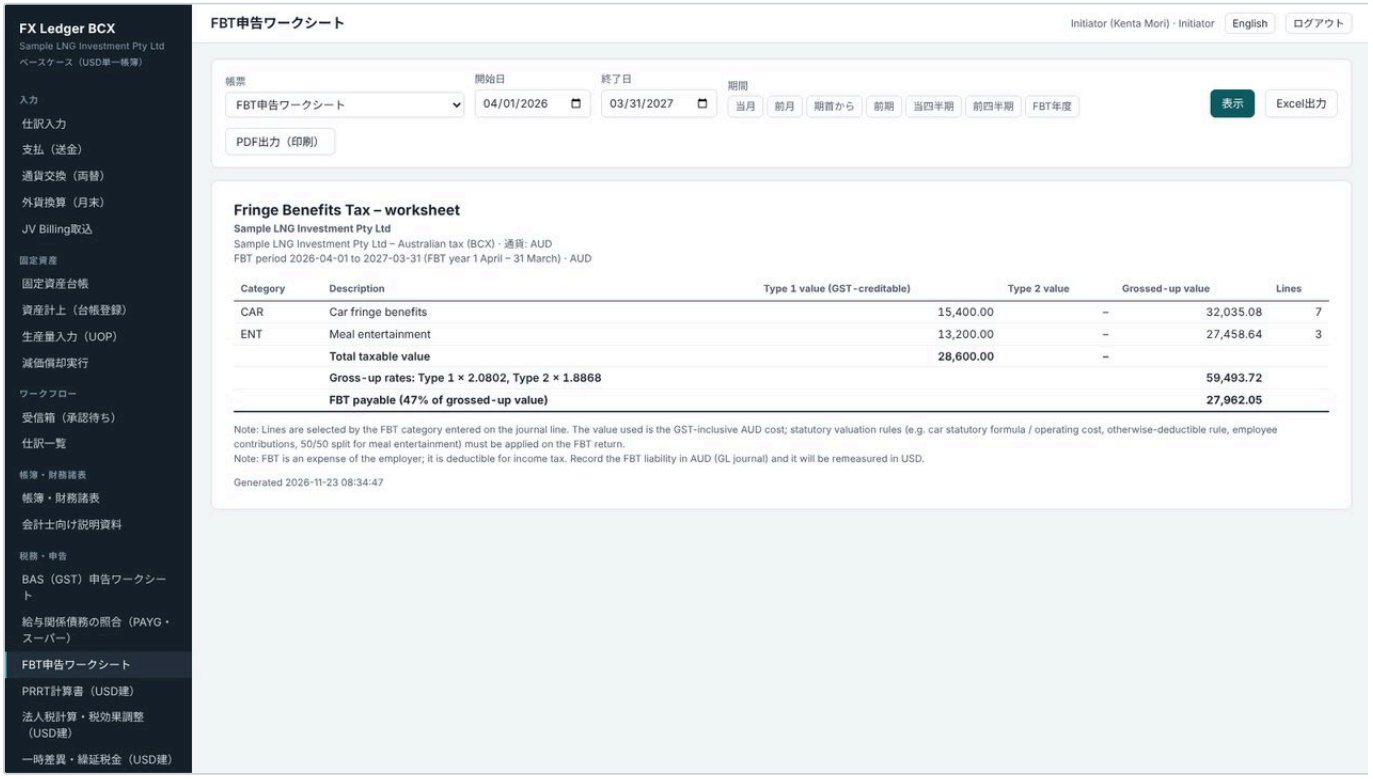
スーパーは Payday Super により給与日から7日以内に基金へ着金させる必要があるため、給与ごとに支払までの日数を計算し、OK、LATE、UNPAID を表示します。預り源泉税は、次の BAS で納付されるまで未払として表示されます。



8.6 FBT 申告ワークシート

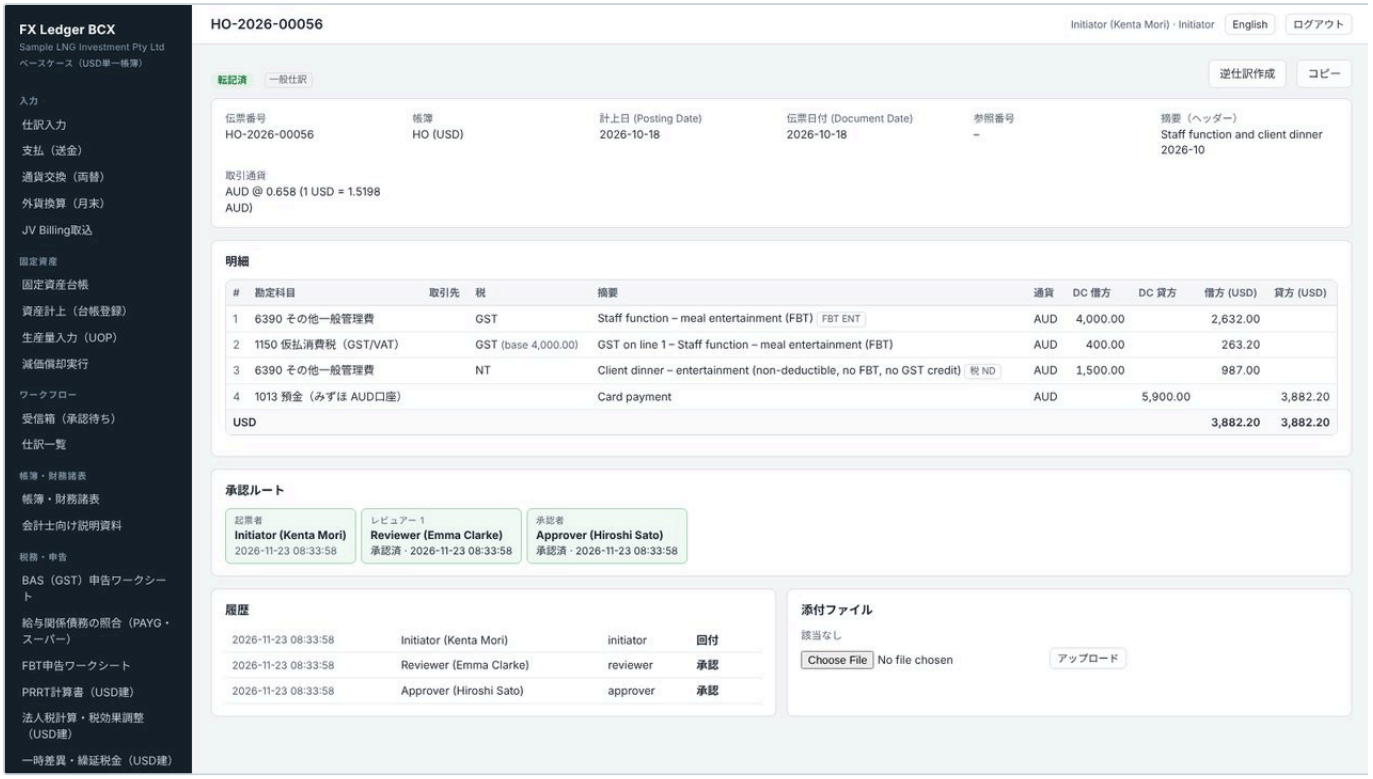
FBT 年度（4月〜3月）の FBT 区分付き明細を集計します。GST の仕入税額控除がある費用は Type 1（2.0802）、ない費用は Type 2（1.8868）でグロスアップし、47%の税額を計算します。

自動車の法定算式や飲食接待の 50/50 法などの評価方法は、申告書の作成時に反映してください。



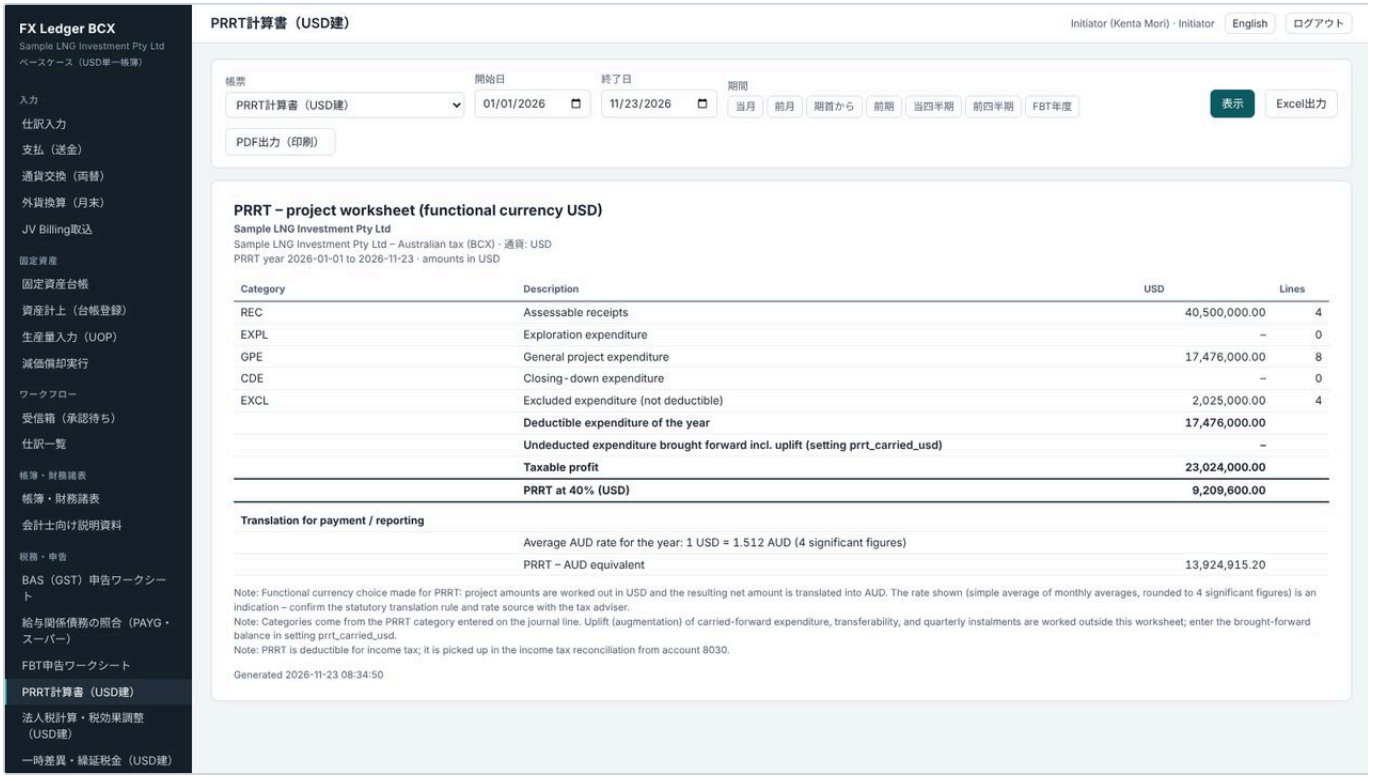
8.7 交際費の区分例

この例では、社内行事の飲食は FBT ENT、顧客接待は FBT 対象外・GST 控除なし（NT）・損金不算入（ND）として1枚の仕訳に入力しています。



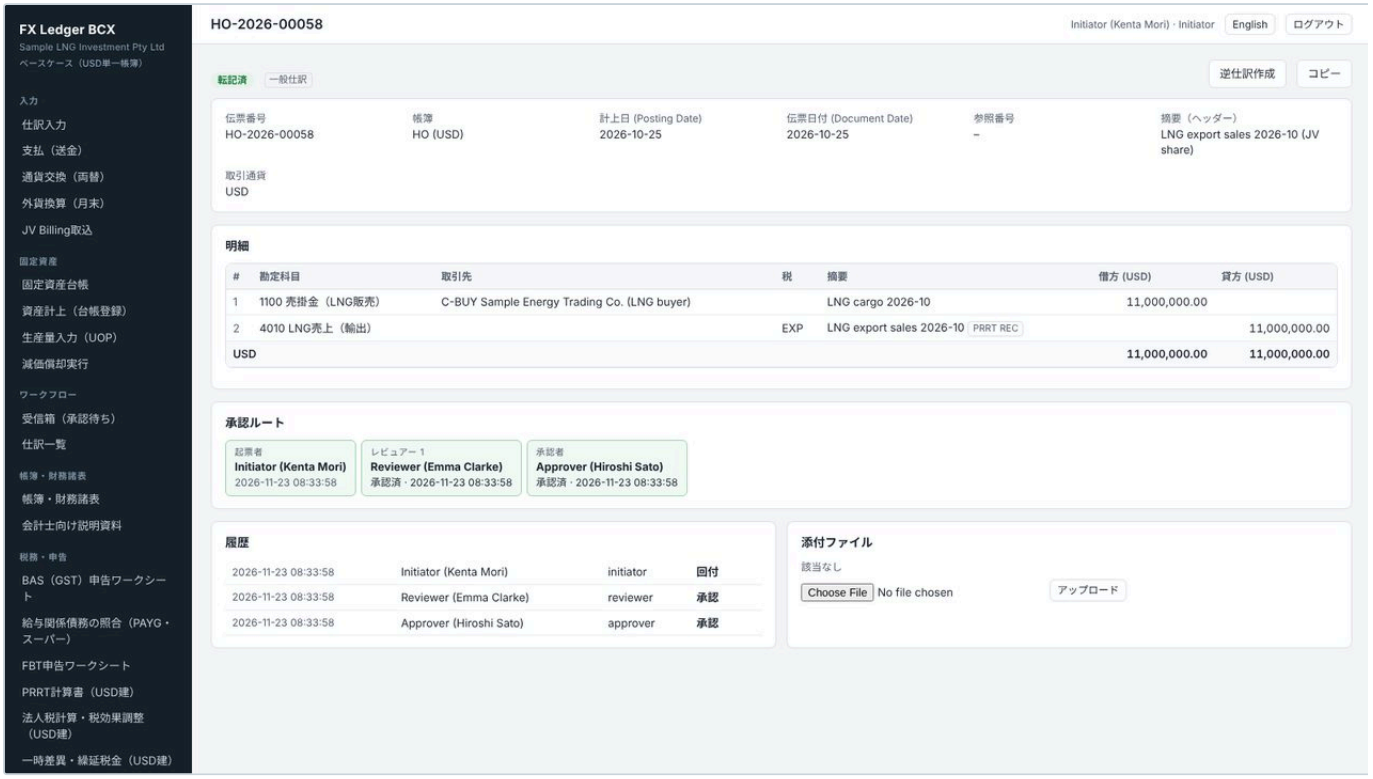
8.8 PRRT 計算書（USD 建）

PRRT 区分付き明細を USD で集計し、課税収入から探鉱・一般プロジェクト・閉鎖支出と繰越未控除支出を差し引いて、40%の PRRT を計算します。AUD への換算レートは有効数字4桁で表示します。



8.9 LNG 売上の区分例

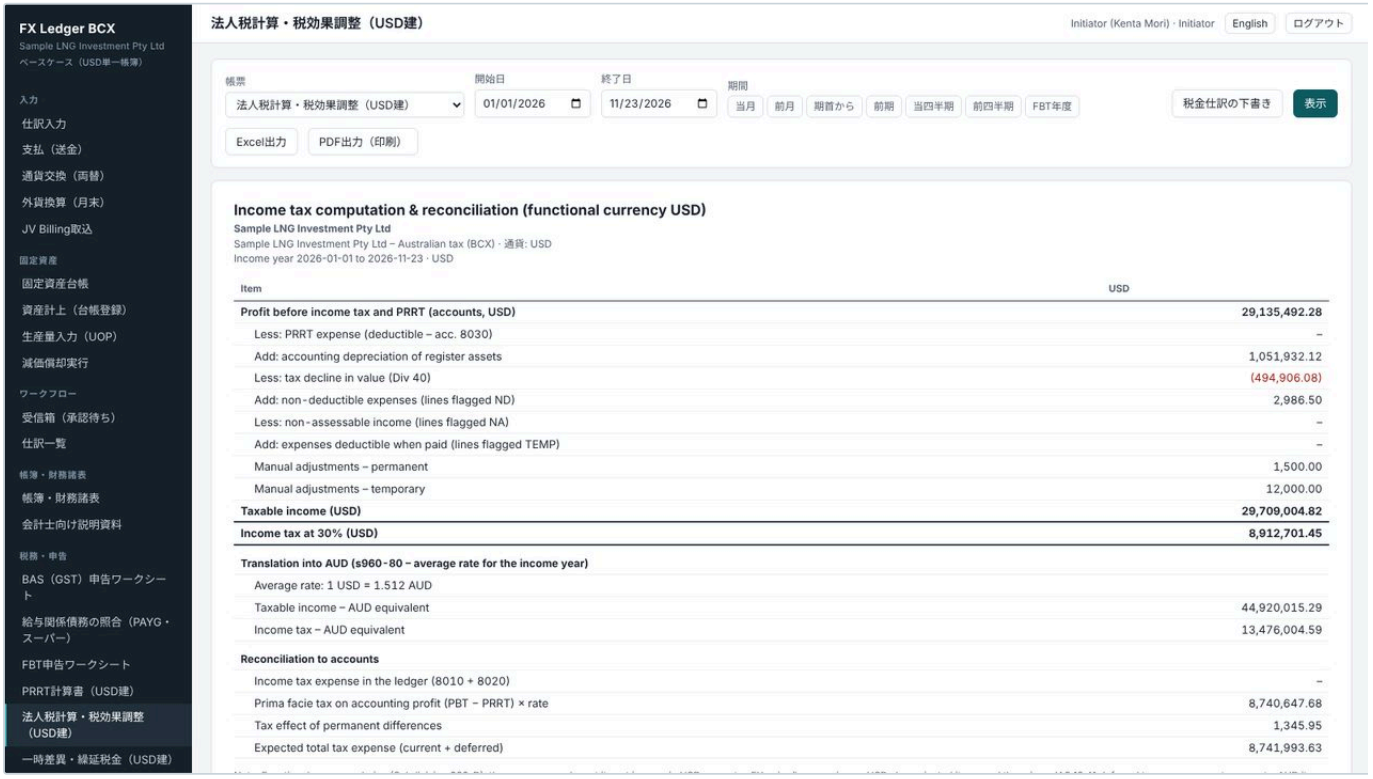
LNG の輸出売上は、税コード EXP（GST 免税・G2）と PRRT 区分 REC を付けて記帳します。生産費は GPE、ロイヤルティは EXCL です。



8.10 法人税計算・税効果調整（USD 建）

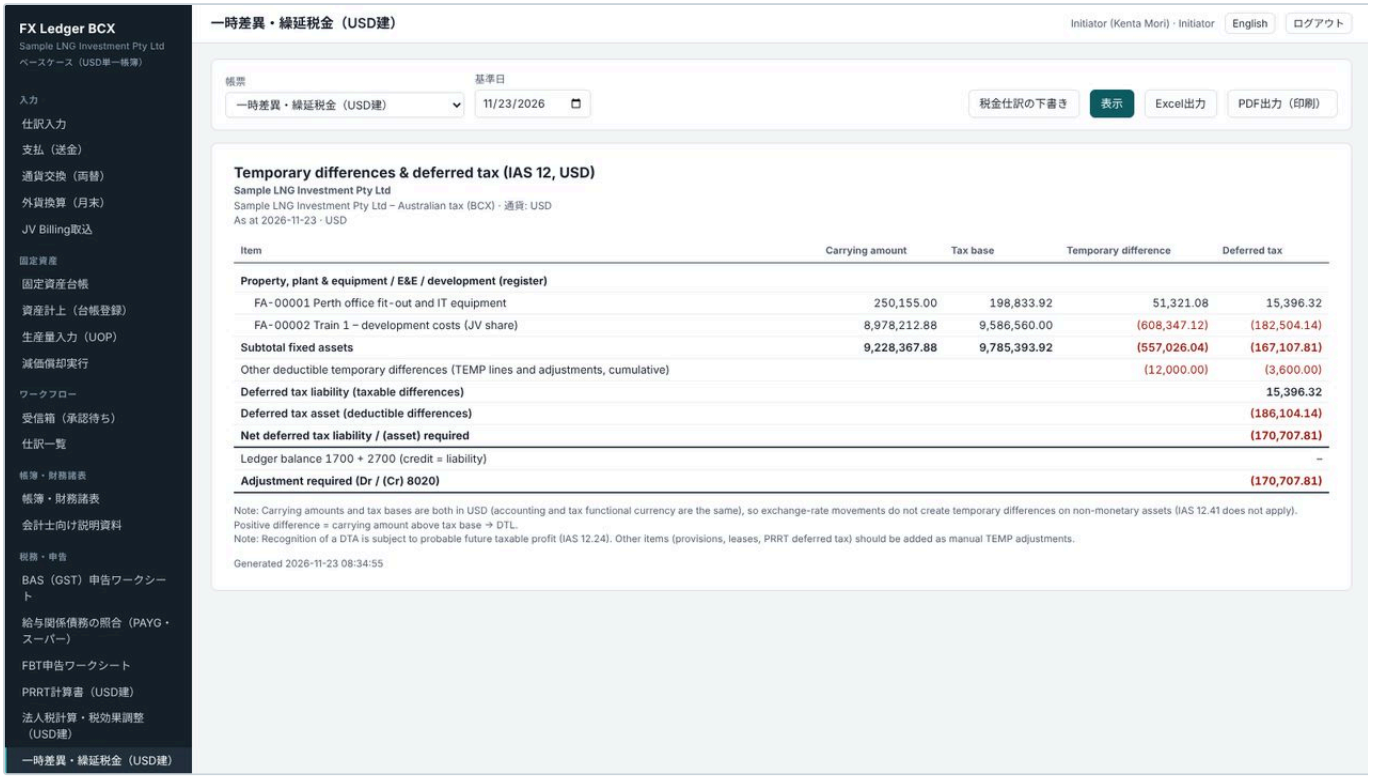
税引前利益（USD）から、PRRT、会計上と税務上の減価償却の差、損金不算入、益金不算入、支払時損金、手入力の税務調整を加減算して課税所得を求め、税率30%で法人税を計算します。結果は年平均レートで AUD に換算します。

「税金仕訳の下書き」を押すと、当期の法人税（借：8010／貸：2300）の仕訳が下書きで作られます。



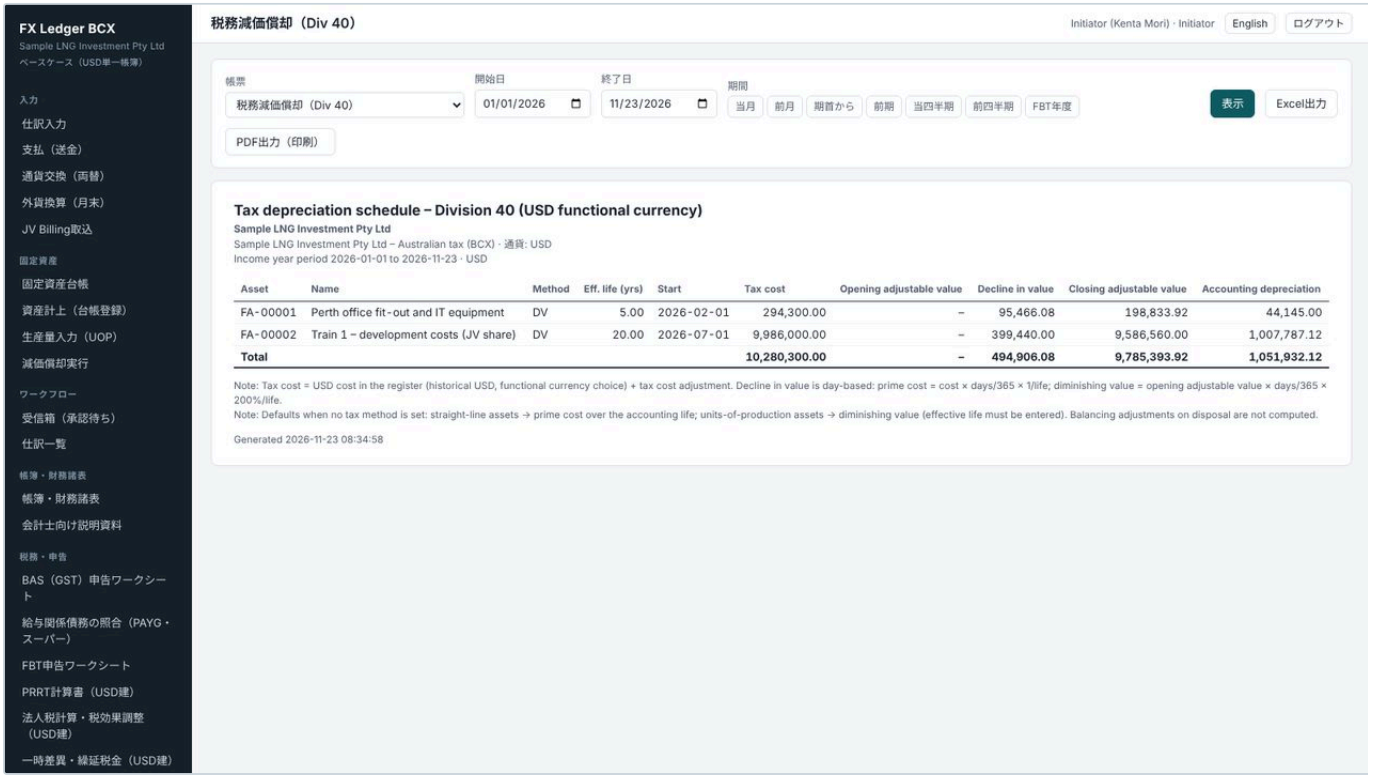
8.11 一時差異・繰延税金（USD 建）

固定資産ごとに帳簿価額と税務簿価を比べ、一時差異と繰延税金を計算します。どちらも USD なので、為替変動による一時差異は生じません。元帳の繰延税金残高との差額を調整仕訳の下書きにできます。



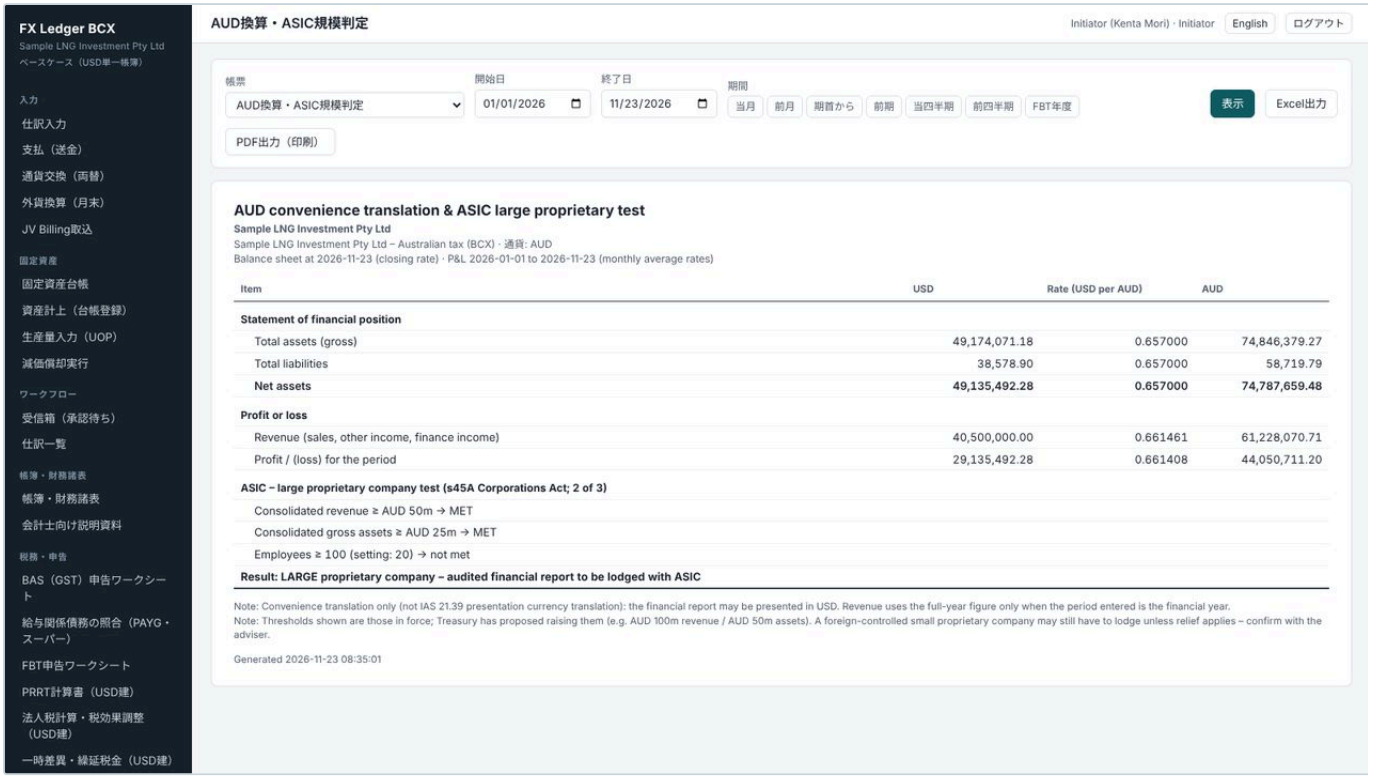
8.12 税務減価償却（Div 40）

資産ごとの税務上の取得価額、期首の調整後価額、当期の減価額、期末残高を一覧します。日割り計算で、定額法は取得価額×日数/365×1/耐用年数、定率法は期首残高×日数/365×200%/耐用年数です。



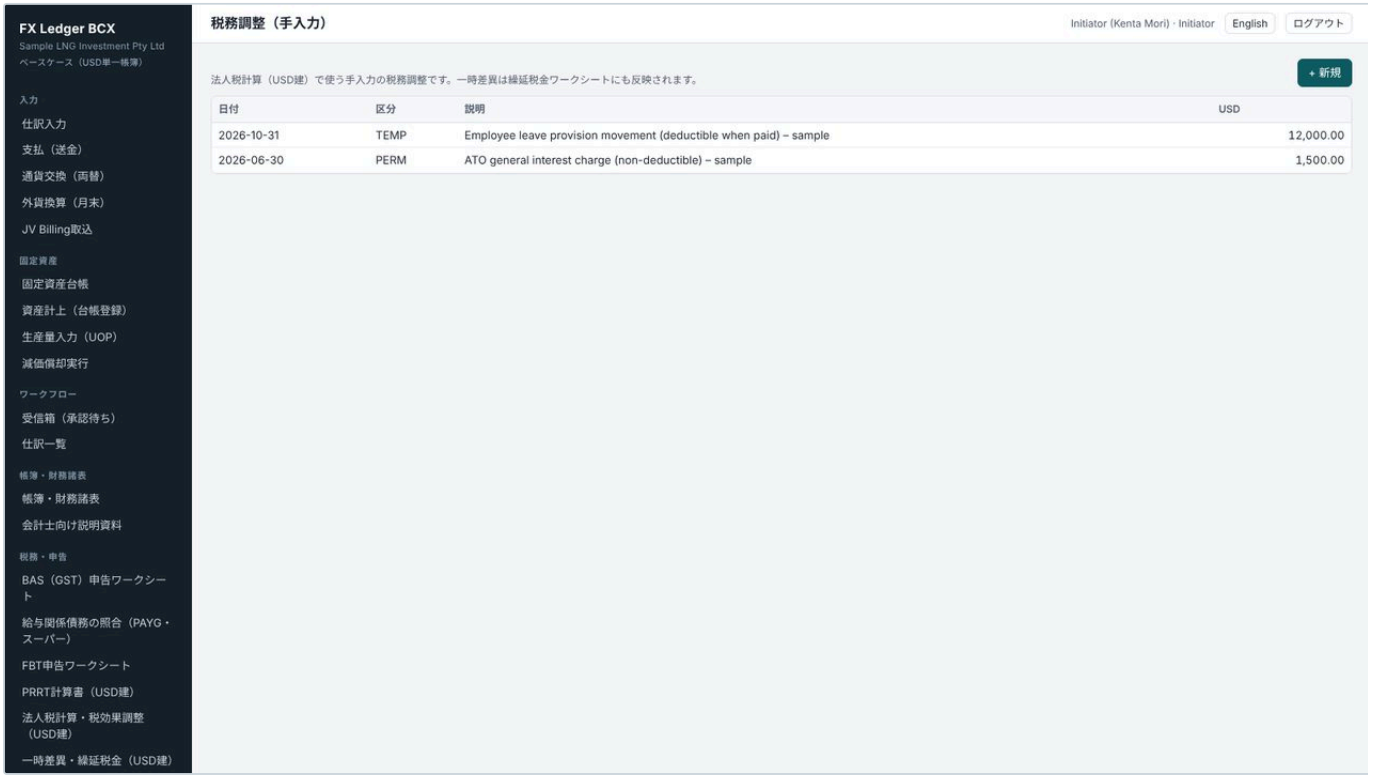
8.13 AUD 換算・ASIC 規模判定

財政状態を期末レート、損益を月平均レートで AUD に参考換算し、売上高5,000万 AUD、総資産2,500万 AUD、従業員100名のうち2つ以上を満たすかを判定します。従業員数は設定画面の値を使います。



8.14 税務調整（手入力）

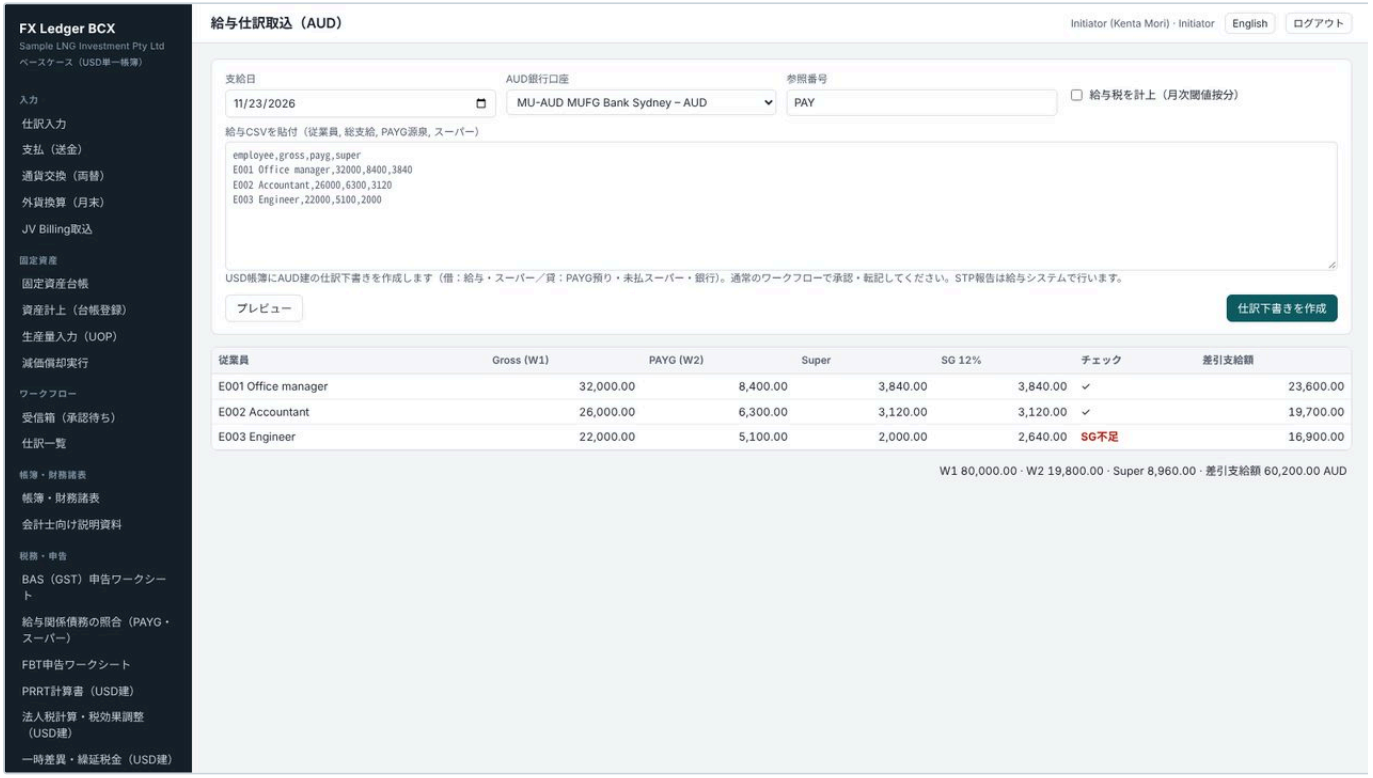
仕訳に属性を付けられない調整（罰金、引当金の増減など）は「税務調整」に USD で入力します。永久差異（PERM）は法人税計算に、一時差異（TEMP）は法人税計算と繰延税金の両方に反映されます。



8.15 給与仕訳取込（AUD）

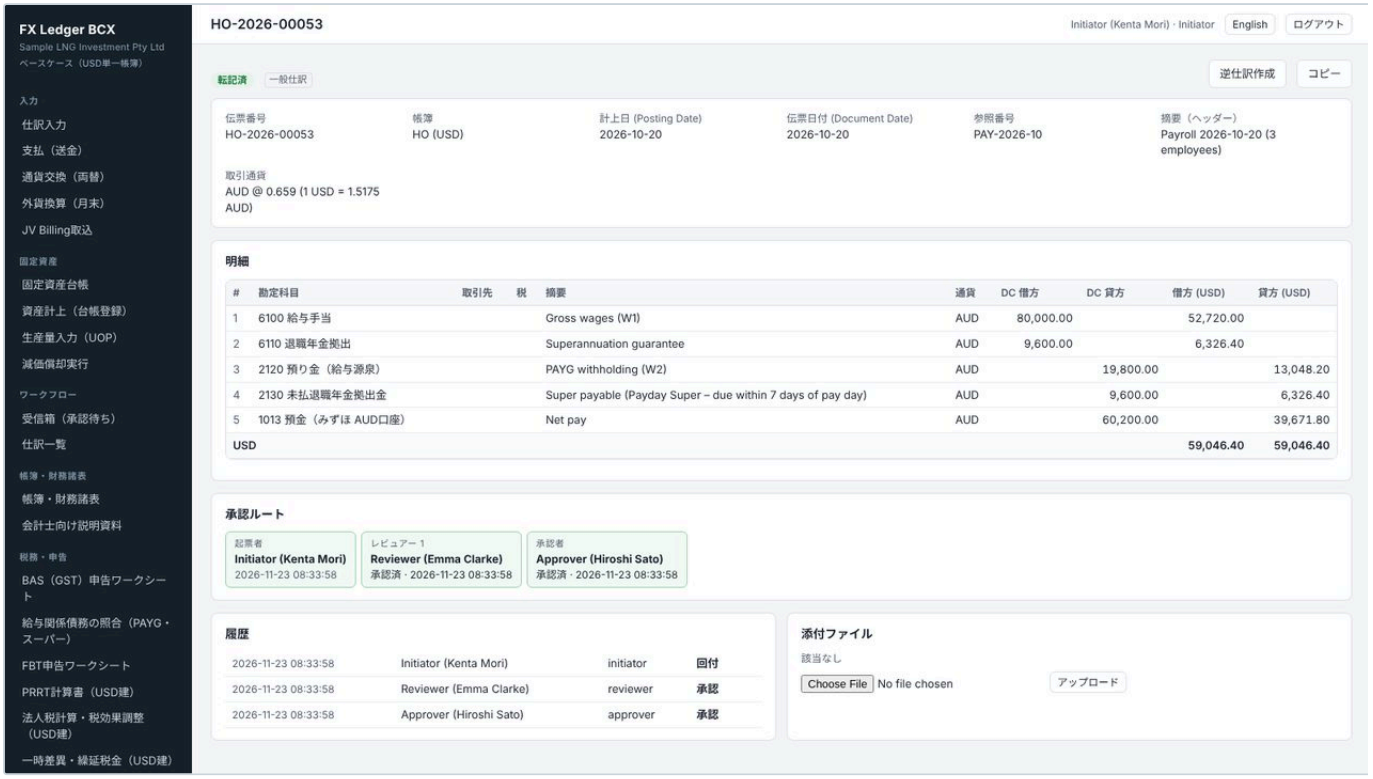
給与システムの結果を「従業員, 総支給, PAYG 源泉, スーパー」の CSV で貼り付け、「プレビュー」で確認します。スーパーが総支給の12%未満の行は「SG 不足」と表示されます。

「仕訳下書きを作成」で、借：給与・スーパー／貸：PAYG 預り・未払スーパー・AUD 銀行の仕訳ができます。給与税の計上も選べます。STP の報告は給与システムで行います。



8.16 給与仕訳

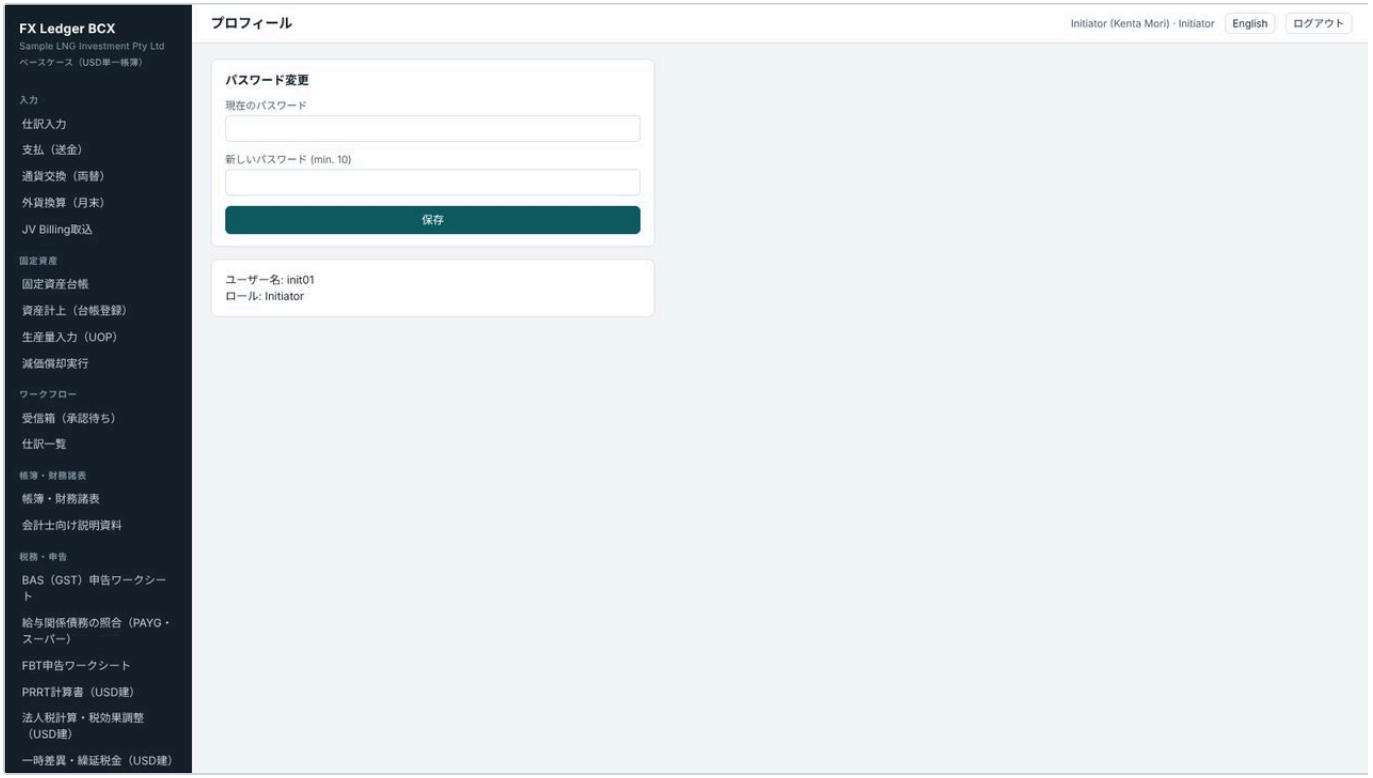
作成された給与仕訳は通常のワークフローで承認・転記します。スーパーは Payday Super により給与日ごとに支払います。



9. 個人設定

9.1 パスワードと表示言語

「個人設定」で表示名、メールアドレス、パスワード、表示言語を変更できます。パスワードは10文字以上にしてください。



付録

試用環境

試用環境 https://ashikari.work/fxl3/bcx/ には、2026年1月〜10月のサンプルデータ（GST・給与・BAS精算・FBT・LNG売上・PRRT区分・固定資産・税務調整）が入っています。データは共用のため、機密情報は入力しないでください。

ユーザー名	パスワード	役割
admin	adminashikari	システム管理者
init01	Testinitiator1	起票者（Initiator）
rev01	Testreviewer1	レビュアー（Reviewer）
appr01	Testapprover1	承認者（Approver）

注意事項

税務・申告の各帳票は申告書作成のためのワークシートです。法定の評価方法、換算レートの根拠、繰越・分納・差額調整などは、申告前に税務顧問の確認を受けてください。